

令和4年度

# 中 教 研

—各部会研究活動の概要と紹介—



京都市立中学校教育研究会

表紙の作品 作者 吉田 結衣(衣笠中学校 2年)

## はじめに

京都市立中学校教育研究会の部会長先生をはじめ、会員の皆さまには、研究会活動の推進にご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表します。

また、令和4(2022)年度の研究会活動のまとめとなる「中教研」を編集するにあたり、執筆などにご協力いただきましたことに、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、新しい時代に必要な資質・能力の育成として、「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」の三つの柱で再整理されています。この三つの柱に即して、各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示されていますが、各校におかれましても自校の教育過程にいかにか落とし込んでいくか、ご尽力されたことと思います。また、習得した知識・技能が思考・判断・表現において活用できることや、思考・判断・表現の中で知識・技能が生きて働くものとして習得されるなど、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、学習過程の質的改善にも取り組まれたことと思います。

また、育成すべき資質・能力が三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習評価の観点も、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点に整理さ2年が経過しました。評価の在り方について、各校において研修を積まれたことと思います。学習評価は、子どもたちの学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図るとともに、子どもたち自身が自らの学びを振り返って、次の学びに向かうことができるようにするために、重要な営みです。客観性や公平性など信頼性の高い学習評価のためには、日々の研鑽が必要であるとともに、教科会などでの十分な吟味を経て、学校として生徒・保護者に届ける必要があります。教科の枠を越えて京都市全体として英知を結集して取り組んでいきたいと思ひます。

本冊子には、各研究部会の活動記録や成果と課題などが掲載されております。つきましては、各校や各研究部会におかれまして、本冊子をご活用いただければ幸甚です。

なお、今年度より冊子化ではなく、データとして総合教育センターのホームページ内「中教研」のフォルダに保存し、多くの方に閲覧および活用していただけるように変更いたしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

令和5年3月

京都市立中学校教育研究会  
会 長 今 津 敏 一

# 目 次

1. はじめに	1
2. 目 次	2
3. 京都市立中学校教育研究会 会則	3
4. 歴代会長・副会長名一覧表	4
5. 令和4年度 部会役員名簿一覧表	5
6. 令和4年度 本部役員一覧表	6
7. 令和4年度 事業報告	7
8. 各部会の研究活動の概要と紹介	
(1) 国語部会	8
(2) 社会科部会	9
(3) 数学部会	10
(4) 理科部会	11
(5) 音楽部会	12
(6) 美術部会	13
(7) 保健部会	14
(8) 体育部会	15
(9) 技術・家庭科部会	16
(10) 英語部会	17
(11) 道徳部会	18
(12) 特別活動部会	19
(13) 教育相談(カウンセリング)部会	20
(14) 人権教育部会	21
(15) 教務部会	22
(16) 生徒指導部会	23
(17) 進路指導部会	24
(18) 安全教育部会	25
(19) 情報教育部会	26
(20) 図書館教育部会	27
(21) 発達障害教育部会	28
(22) 二部学級部会	29
(23) へき地・小規模校教育部会	30
(24) 吹奏楽部会	31
(25) 新聞教育部会	32
(26) 放送教育部会	33
(27) 演劇部会	34
(28) 食教育部会	35
(29) 野外教育部会	36
(30) 総合的な学習の時間部会	37
(31) 研究主任部会	38
(32) 環境教育部会	39
(33) キャリア教育部会	40
(34) LD等支援教育部会	41
9. 第38回京都市中学校総合文化祭プログラム	42・43

# 京都市立中学校教育研究会 会則

- 第1条 本会は、京都市立中学校教育研究会と称し、本部を会長校に置く。
- 第2条 本会は、京都市立中学校、義務教育学校及び総合支援学校教職員で組織する。
- 第3条 本会は、京都市立中学校教育の全般にわたり総合的に調査研究を行い、教育の充実・発展を図ることを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 中学校教育に関する調査研究
  2. 研究会、講演会、研究発表会等の開催
  3. 研究物の刊行
  4. その他、必要な事業
- 第5条 本会は、別表に掲げる部会で構成する。各部会に部会長、副会長及びその他の役員を置く。
- 第6条 本会に次の役員を置く。
1. 会長 1名 本会を代表し、会務を総括する。
  2. 副会長 若干名 会長を補佐し、会長に事故あるときはその任務を代行する。
  3. 庶務 2名 庶務に関する事務をつかさどる。
  4. 会計 2名 会計に関する事務をつかさどる。
  5. 広報 2名 広報に関する事務をつかさどる。
- 第7条 本会の会計を監査するため、会計監査を2名置く。
- 第8条 役員及び会計監査は、毎年京都市立中学校教育研究会研究部会長会において選出し、その任期は1年とする。
- 第9条 本会運営のため、顧問及び常任委員を若干名置くことができる。顧問及び常任委員は、会長が委嘱し任期は役員に準じる。
- 第10条 本会の業務を遂行するため、次の会議を行う。
1. 役員会
  2. 部会長会
- 第11条 本会の経費は、会費、補助金、その他をもってこれに充てる。  
なお、会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

付記；本会則は、昭和41年 4月 1日より実施する。  
本会則は、平成13年11月20日一部追加する。  
本会則は、平成14年 7月15日一部追加する。  
本会則は、平成17年 2月15日一部修正する。  
本会則は、平成19年 6月19日一部修正する。  
本会則は、平成30年 6月19日一部追加する。

# 歴代会長・副部会長名一覧表

京都市立中学校教育研究会

年度	会 長	副 会 長	
昭和41年度	西田重雄	松木昇	
42	今北初太郎	佐々木博隆	
43	佐々木博隆	前野小一郎	
44	佐々木博隆	前野小一郎	
45	佐々木博隆	鶴木賢一	
46	鶴木賢一	山崎外次	中沢良三
47	鶴木賢一	山崎外次	中沢良三
48	田中喜代三	山本新一	富永二郎
49	田中喜代三	山本新一	富永二郎
50	河原茂美	福井要	橋爪清
51	中辻澤蔵	荒木光雄	垣内雪夫
52	中辻澤蔵	垣内雪夫	池田繁三
53	中辻澤蔵	垣内雪夫	松永義男
54	松永義男	垣内雪夫	寺澤寛祐
55	寺澤寛祐	垣内雪夫	矢倉達夫
56	吉岡基茂	田中始英	岩井辰一
57	吉岡基茂	田中始英	堤利光
58	吉岡基茂	堤利光	桐山又男
59	北条直樹	桐山又男	忒田昌弘
60	北条直樹	忒田昌弘	堤利光
61	忒田昌弘	堤利光	吉岡克己
62	堤利光	辻禮三	山崎徹
63	藤井健一	辻禮三	木原久男
平成元	荒井修治	岡野稔	山上智男
2	森茂樹	山上智男	吉田敏彦
3	森茂樹	山上智男	吉田敏彦
4	荻野祐二	平岡五男	今西一浩
5	荻野祐二	平岡五男	今西一浩
6	今西一浩	平岡五男	橋本芳継
7	橋本芳継	山崎嘉久	大橋宝成
8	橋本芳継	山崎嘉久	大橋宝成
9	橋本芳継	村田泓	大橋宝成
10	村田泓	大橋宝成	上田靖男
11	村田泓	大橋宝成	増田秀嗣
12	増田秀嗣	清水勲	山本宏之
13	増田秀嗣	清水勲	山本宏之
14	山本宏之	清水勲	藤野適宏
15	山本宏之	藤野適宏	松村英雄
16	藤野適宏	松村英雄	西村恵美
17	壁谷洋一	西村恵美 梅村正男	細谷僚一
18	壁谷洋一	梅村正男 細谷僚一	奥谷功
19	細谷僚一	河口芳嗣 井手賀世子	中田雄二
20	細谷僚一	畑中義伸 浦一夫	中田雄二
21	中田雄二	畑中義伸 浦一夫	廣瀬忠愛
22	荒木馨一	畑中義伸 寺嶋丈雄	細辻吉弘
23	荒木馨一	宮本信二 足立徹	安田和彦
24	柴本三紀夫	塩谷道次 小野尚志	西垣和彦
25	柴本三紀夫	武田有子 小野尚志	西垣和彦
26	柴本三紀夫	武田有子 小野尚志	西垣和彦
27	武田有子	太田和男 土田浩	藤井秀治
28	武田有子	久保薫 小滝俊則	蒲田悟
29	久保薫	吉井朗夫 小滝俊則	蒲田悟
30	久保薫	上山義宏 小滝俊則	蒲田悟
令和元	堀田和宏	上山義宏 小滝俊則	今津敏一
2	堀田和宏	今津敏一 高垣明夫	山下道夫
3	高垣明夫	今津敏一 東郷伸也	山下道夫
4	今津敏一	石田博之 東郷伸也	土岐文行

令和4年度 部会役員名簿一覧表

京都市立中学校教育研究会

番号	部会	部会長	副部会長		代表幹事	
1	国語	今西 邦浩(近 衛)	岩佐 武司(凌 風) 岩田 智典(東山泉) 小野 高志(洛 水) 瀧本祐一郎(大 原)	林 秀雄(松 尾) 森本 康裕(藤 森) 立垣 典子(西京附属)	新庄 泰子(小栗栖)	梶原 寿彦(大 枝)
2	社 会	石田 裕之(栗 陵)	事務局長 山崎 直人(嵯 峨) 間野 郁夫(洛 友) 小泉 茂雄(修学院) 窪田 隆浩(西 院)	藤谷 徹(神 川) 川谷内 晃治(下 鴨) 山崎 良一(春日丘) 中島 一郎(大原野)	(正)藤本 裕之(向島東)	(副)小西 信行(北 野) (副)亀井 隆次(栗 陵)
3	数 学	今津 敏一(小栗栖)	大曾根 好宏(岡 崎) 平井 真広(西 陵)	野村 昌孝(開 晴)	(正)宮部 剛(西京附属)	(副)吉田 幸平(小栗栖)
4	理 科	東郷 伸也(西京極)	森廣 伸一(洛 風) 山田 敦(下 京) 笠原 光徳(松 原) 浅井 晃(桃 陵) 安田 知史(梅 津) 小川 秀(岩 陰) 野村 一真(栗 陵)	小笹 和久(大 枝) 小山 正直(凌 風) 米澤 武史(洛 北) 上田 裕(桂 川) 上澤 一馬(深 草) 辻 光裕(蜂ヶ岡)	和田 正裕(下京) 松本 鉄平(科学C) 奥田 陽一郎(科学C) 藤田 増美(科学C)	黒田 隆文(修学院) 東 俊介(科学C) 前川 清香(科学C) 安達 利紗子(西京極)
5	音 楽	山口 基之(京都御池)	柿谷 隆子(東山泉)	水上 瑞穂(修学院)	(長)森田 幹代(凌 風)	(副)軸丸 純士(京都御池)
6	美 術	藤佐 憲治(衣 笠)	乾 茂樹(藤 森) 河内 茂(加茂川)		(長)山本 司(蜂ヶ岡)	(副)湯口 みゆき(洛 北)
7	保 健	上田 元司(双ヶ丘)	大北 康史(洛 南) 原 秀樹(向島東)	小林 鉄男(洛 西) 伊藤 真理子(向島秀連)	幹事長 木田 伸彦(桂)	副幹事長 東田 朗宏(醍 醐)
8	体 育	高田 幸信(中 京)	森 一功(桃 山) 森下 治樹(加茂川)	山本 慎吾(梅 津)	坂部 大輔(向島秀連小中)	山口 将司(東山泉)
9	技 術・家 庭	土岐 文行(檜 原)	長谷川 正己(洛 北) 小谷 昌宏(北 野) 吉川 康浩(桂 川) 今枝 潤之輔(久 世) 小滝 俊則(音 羽) 竹田 久美子(向島東) 深尾 彰(高 野)	浅井 具子(近 衛) 逆水 由紀(花 山) 宮園 雅史(春日丘) 内海 真奈美(安祥寺) 田中 省吾(洛 水) 堀内 依子(蜂ヶ岡)	向段 亜希子(京都御池)	柳井 拓弥(嵯 峨)
10	英 語	上野 政弘(向島秀連)	中川 潔(朱 雀) 松井 剛史(二 条) 小林 匡子(上 京)	藤井 泉(西ノ京)	佐藤 亮太(衣 笠) 金谷 佳明(開 晴) 木村 聖彦(桂)	塩見 登(大 淀) 馬淵 朱美(嵯 峨)
11	道 徳	中島 一郎(大原野)	藤井 泉(西ノ京) 川上 貴由(大 淀) 天谷 千恵(高 野)	吉川 康浩(桂 川) 中大路浩一(二 条) 上田 裕(桂 川)	中山 芳明(藤 森)	(副)藤原 有佐(七 条)
12	特 別 活 動	藤井 泉(西ノ京)	中川 潔(朱 雀) 蒲田 悟(伏 見) 川上 貴由(大 淀)	宮園 雅史(春日丘) 中大路 浩一(二 条)	松谷 元嗣(嵯 峨)	森田 純代(岡 崎)
13	教育相談・ カウンセリング	大曾根 好宏(岡 崎)	川上 貴由(大 淀) 森廣 伸一(洛 風) 土岐 文行(檜 原)	今西 邦浩(近 衛) 野川 理歩(七 条) 粟津 亮子(洛 風)	宮迫 嘉徳(神 川)	(副)佐田 信太郎(山 科)
14	人 権 教 育	安田 知史(梅 津)	松井 剛史(二 条) 岩佐 武司(凌 風) 土岐 文行(檜 原)	小泉 茂雄(修学院) 川島 浩明(九 条)	林 (修学院)	加藤 寛隆(梅 津)
15	教 務	小野 高志(洛 水)	林 秀雄(松 尾) 嶋田 和彦(安祥寺)		幹事長:杉本 千恵(桂) 副幹事長:奥園 祐子(音羽)	庶務:北山 千尋(向島秀連) 会計:中田 昌夫(中 京)
16	生 徒 指 導	山田 敦(下 京)	森本 康裕(藤 森) 岩田 智典(東山泉) 竹田 久美子(向島東) 石田 裕之(栗 陵)	川上 貴由(大 淀) 藤川 佳久(四 条) 柴崎 恭江(京都御池) 上田 裕(桂 川)	幹事長:眞田 宗明(嘉 楽)	副幹事長: 松本 啓吾(桃 陵) 一谷 武志(京都御池) 須崎徳馬(嘉 楽)
17	進 路 指 導	嶋田 和彦(安祥寺)	今枝 潤之輔(久 世)	野村 昌孝(開 晴)	幹事長:本好 正明(洛 北)	副幹事長:澤田 智洋(洛 南) 副幹事長:岡本 一義(西京極)
18	安 全 教 育	勝原 雅美(蜂ヶ岡)	森 一功(桃 山) 小川 秀(岩 陰)	逆水 英治(烏 丸)	小林 碧(八 条)	森田 敏治(桃 山)
19	情 報 教 育	今枝 潤之輔(久 世)	森本 晃敬(醍 醐) 長谷川 正己(洛 北)	深尾 彰(高 野)	(正)吉田 幸平(小栗栖)	(副)阿部 真弥(太 秦)
20	図 書 館 教 育	瀧本 祐一郎(大 原)	岩田 智典(東山泉) 林 秀雄(松 尾) 高橋 佳久(七 条)		(正)岩見 洋一郎(大 原) 長谷川万美子(勸 修) 山口 さやか(太 秦) 小倉 孝枝(大 枝) 糸原 登代美(洛 友) 末永 理沙(勸 修) 藤原 美仙(西京極)	市原実中(附属京都) 中辻 佳代(松 尾) 中井 文栄(音 羽) 小倉 望(開 晴) 後藤さやか(上 京) 片山 幸子(上 京) 小村 美幸(洛 北)
21	発 達 障 害 教 育	小田 浩之(大 枝)	顧問:上野 政弘(向島秀連) 顧問:大北 康史(洛 南)	丸 民代(西ノ京) 多那瀬 真穂(大 枝)	堀井 俊克(神 川) 田中 緑(洛 北) 棚田 夫佐子(下 京)	弓副 雅哉(松 原) 竹中 由佳(北 野) 仲谷 美穂(山 科)
22	二 部 学 級	間野 郁夫(洛 友)	土岐 文行(檜 原)	西村 府子(洛 友)	朝岡 洋一(洛 友)	糸原 登代美(洛 友)
23	へき地・小規模校教育	小川 秀(岩 陰)	板垣 嘉郎(花 背)		有本 重厚(岩 陰)	小林 修(花 背)
24	吹 奏 楽	山口 基之(京都御池)	柿谷 隆子(東山泉)	顧問:平林 秀二(総教セ)	(長)丸山 早希(京都御池)	(副)黒田 哲広(洛 北)
25	新 聞 教 育	山崎 直人(嵯 峨)	上畑 直久(西京附属) 藤川 佳久(四 条)	福田 博天(東山泉)	(正)石田 誠(上 京)	(副)石田 典子(久 世)
26	放 送 教 育	岩佐 峰之(西京附属)	久保 泰雄(朱 雀)		八藤 由之(安祥寺)	
27	演 劇	笠原 光徳(松 原)	小滝 俊則(音 羽)		片山 知行(洛 星)	井上 裕子(音 羽)
28	食 教 育	小林 匡子(上京)	森本 康裕(藤 森) 上田 元司(双ヶ丘)	竹田 久美子(向島東) 古口 賢一(嘉 楽)	池田 純子(下 京) 新谷 裕美(上 京) 今川 早紀(洛 南)	野田 しずか(栗 陵・醍 醐) 齋藤 仁美(嘉 楽)
29	野 外 教 育	長谷川 正己(洛 北)			大野 真見(東山泉)	
30	総合的な学習の時間	今津 敏一(小栗栖)	森下 治樹(加茂川)	瀧本 祐一郎(大 原)	(長)白井 純子(東山泉)	(副)前川 俊(音 羽) (副)藤本 裕之(向島東)
31	研 究 主 任	今津 敏一(小栗栖)	平井 真広(西 陵)	野村 昌孝(開 晴)	(長)中島 朋哉(向島東) (副)越田 友喜(向島秀連)	和田 正裕(下京) 元氏 宏輔(開 晴)
32	環 境 教 育	山田 敦(下 京)	小川 秀(岩 陰)	米澤 武史(洛 北) 上田 裕(桂 川)	(正)中井 誠太郎(高 野)	(副)川北 雅美(松 原)
33	キ ャ リ ア 教 育	山田 敦(下 京)	中村 季弘(天 宅) 高橋 佳久(七 条) 上畑 直久(西京附属)	増田 隆生(花 山) 今津 敏一(小栗栖) 三田村 高秀(桂)	杉村 朗(太 秦)	上島 保隆(太 秦) 今河 慶昭(久 世)
34	LD等支援教育	石田 裕之(栗 陵)	石原 廣保(桃陽総合) 大曾根 好宏(岡 崎)	竹田 久美子(向島東)	小山 享子(衣 笠)	千代 優樹(桃陽総合)

会 長	今津 敏一(小栗栖)	副 会 長	石田 裕之(栗 陵) 東郷 伸也(西京極) 土岐 文行(檜 原)	庶 務	上野 政弘(向島秀連) 藤井 泉(西ノ京) 上田 元司(双ヶ丘) 山口 基之(京都御池)	会 計	中島 一郎(大原野)	会 計 監 査	藤佐 憲治(衣 笠)
						広 報	今西 邦浩(近 衛) 高田 幸信(中 京)		

## 【本部役員】

役 職	名 前	メ-ル	学 校 名
会 長	今 津 敏 一	④	小 栗 栖 中 学 校
副 会 長	石 田 裕 之	④	栗 陵 中 学 校
	東 郷 信 也	⑤	西 京 極 中 学 校
	土 岐 文 行	⑤	檜 原 中 学 校
庶 務	上 野 政 弘	①	向 島 秀 連 小 中 学 校
	藤 井 泉	③	西 ノ 京 中 学 校
	上 田 元 司	③	双 ケ 丘 中 学 校
	山 口 基 之	⑦	京 都 御 池 中 学 校
会 計	中 島 一 郎	⑤	大 原 野 中 学 校
広 報	今 西 邦 浩	⑥	近 衛 中 学 校
	高 田 幸 信	①	中 京 中 学 校
会 計 監 査	諏 佐 憲 治	③	衣 笠 中 学 校
顧 問	校 長 会 役 員 か ら		
《事務局》	京 都 市 立 小 栗 栖 中 学 校	電 話 075-572-3135 FAX 075-572-3165	

### 京 都 市 教 育 委 員 会

#### 【指導部 学校指導課】

統括首席指導主事	宮 田 功
中学校教育係長	小 出 奈 々 子
中教研担当首席指導主事	三 科 俊 一
中総文担当首席指導主事	石 井 大 記
中総文担当係員	井 元 雅 和

#### 【京都市総合教育センター】

中教研担当首席指導主事	森 茂 昭
中教研担当研修主事	柴 本 三 紀 夫
中総文担当指導主事	太 田 美 佐 和

令和4年度

# 中教研事業報告

京都市立中学校教育研究会

- ▼ 5月26日(木) ○第1回中教研役員会(書面開催)
- ▼ 6月21日(火) ○中教研部会長会(校長総会後 総教Cにて)
  - \*令和3年度事業報告・決算報告
  - \*令和4年度会長・本部役員承認
  - \*令和4年度事業計画 他
- ▼ 7月14日(木) ○第1回中学校総合文化祭(中総文)実行委員会(校長総会後 総教Cにて)
  - \*実行委員会部会長会・役員選出
  - \*実施日時・会場確認
  - \*新型コロナウイルス感染症対策 他
- ▼ 11月 ○第38回京都市中学校総合文化祭

開催日	名称	担当部会名	会場
10月22日(土)	生徒理科活動交流会	理科部会	京都市青少年科学センター
11月 5日(土) 11月 6日(日)	美術展	美術部会	京都市総合教育センター
	新聞展	新聞教育部会	
	技術・家庭科生徒作品展	技術・家庭科部会	
	生徒社会科作品展	社会部会	
11月 5日(土)	朗読コンクール	国語部会	京都市立洛友中学校
	弁論大会	道徳部会	
	英語学習発表会	英語部会	
	生徒音楽会	音楽部会	
11月 6日(日)	吹奏楽演奏発表会	吹奏楽部会	京都堀川音楽高等学校音楽ホール
	生徒社会科研究発表会	社会部会	京都市総合教育センター
11月20日(日) 11月23日(祝)	演劇合同発表会	演劇部会	立命館大学 衣笠キャンパス

※ビブリオバトル(図書館教育部会)は実施していない。

- ▼ 12月19日(月) ○ジョイント・学習確認プログラムプロポーザルヒアリング(オンライン)
- ▼ 1月17日(月) ○第2回中学校総合文化祭(中総文)実行委員会(総合教育C)
  - \*今年度の各事業総括及び次年度に向けて
  - \*次年度の実施内容及び日程・会場確認 他
- ▼ 3月16日(水) ○『中教研』冊子(電子化)完成・発信(市中校長総会時報告)
- ▼ 随時 ○学習確認プログラム委員会(1年・2年・3年)運営
- 役員会

# 【国語部会】

通称：ちゅうこっけん

事務局：京都市立近衛中学校

会員数：約300人

## 《研究テーマ》

新学習指導要領に基づいた資質・能力が身に付く指導法の探究と、知識・技能、思考力・判断力・表現力を主体的に発揮させる諸事業の充実

～GIGA端末を活用しながら学習課題に取り組む生徒像を目指して～

## 《役員・組織》

部会長 今西邦浩（近衛）

副部会長 岩佐武司（凌風） 岩田智典（東山泉） 小野高志（洛水） 瀧本祐一郎（大原）

林 秀雄（松尾） 森本康裕（藤森） 立垣典子（西京附属）

本部 総務 研究部チーフ 新庄泰子（小栗栖） 事業部チーフ 梶原寿彦（大枝）

会計 柴田貴子（中京）

研究部学年チーム 1年担当12人，2年担当3人，3年担当10人

各事業チーム 若手学習会（2人 チーフ 井上侑大（梅津））



夏季研修会（2人 研究部チーフと細井悠一（向島秀蓮））

朗読コンクール（8人 チーフ 神農政晃（勸修））

風物詩コンクール（5人 チーフ 梶原寿彦（大枝））

幼小中高書写作品展書き初め展（3人 チーフ 池内理美（京都京北））

学習確認プログラム（10人）

## 《年間の事業》

総 会

5月17日（火）総合教育センターにて

幹 事 会

5月6日（金）、7月8日（金）総合教育センターにて

9月20日（火）、11月25日（金）総合教育センターにて

2月（予定）総合教育センターにて

若手学習会等の研修会

9月9日（金）、2月13日（金）総合教育センターにて

夏季研修会

8月4日（木）総合教育センターにて、及び配信

学習確認プログラム問題検討会

5～8月

幼小中高作品展

9月28日（水）～10月2日（日）京都市美術館別館にて

第34回朗読コンクール

11月5日（土）総合教育センターにて

第59回風物詩コンクール

10月中旬～募集 10月29日（土）審査会 近衛中学校にて

政令指定都市国語教育研究会

11月17日（木）・18日（金）川崎大会

第90回 書き初め展

1月14日（土）、16日（月）総合教育センターにて

研究紀要発行

3月（予定）

プロジェクト研究企画

通年 研究部メンバーによる研鑽・協議

学習会

8月・10月・11月・1月

## 《今後の課題》

◇研究部と学習会と夏季研修会のつながりの励起による研究テーマに示す研究会の目標の達成

◇（新型コロナウイルス感染症の収束を踏まえて）学習会の頻度の確保

◇令和5年度政令指定都市国語教育研究会京都大会開催に向けて

# 【社会科部会】

通称：中社研（ちゅうしゃけん）

事務局：京都市立栗陵中学校

会員数：244名

## 1. 組織・役員

会 長	石田 裕之（栗 陵）	顧 問	清水 亮（鳥 丸）	柴崎恭江（京都御池）	
副 会 長	山崎直人（嵯 峨）	藤谷 徹（神 川）	上畑直久（西京附屬）	坂田良久（九 条）	
	間野郁夫（洛 友）		川谷内晃治（下鴨）	杉本貴信（開 晴）	福田博天（東山泉）
	小泉茂雄（修学院）		山崎良一（春日丘）	芳山知也（勸 修）	藤川佳久（西 条）
	窪田隆浩（西 院）		中島一郎（大原野）	重田耕成（洛 西）	小河 伸（伏 見）
			穂積 悠（桃 陵）	乙幡良治（向島秀蓮）	
		幹事長	藤本 裕之（向島東）		
		副幹事長	小西信行（北 野） 亀井隆次（栗 陵）		
◆研究部	・分野別研究（地理，歴史，公民） ・スタンダード活用促進チーム ・学習確認プログラム				
◆事業部	・政治的教養を育む教育に関する授業研究 ・中学校総合文化祭 ・生徒体験教室				
◆庶務部					
◆特別委員会	・同和問題研究 ・外国人問題研究 ・ICT活用教育 ・教育課程				

## 2. 研究テーマ

### 「社会科で育てる未来の創り手」

～課題を解決するプロセスを見通す力を育む単元の開発～

## 3. 活動の記録

- (1) 総会 令和4年5月24日（火） オンライン
  - ・前会長挨拶 ・令和3年度事業報告と決算報告 ・新会長推挙・挨拶
  - ・令和4年度事業計画と予算（案） ・研究部長より ・その他
- (2) 社会科教員指導力向上講座① 6月14日（火）
  - 単元を見通した問いづくりの工夫 実践発表と演習・協議
- (3) 夏季研修会 令和4年7月27日（水） オンライン
  - 教科指導力の向上を目指した講義
  - 令和4年7月28日（木） オンライン
    - 指導と評価の一体化のための学習評価 これまでの実践と課題の報告及び協議
    - ※社会科教員指導力向上講座②③を兼ねる
- (4) 実地研修 令和4年9月2日（金） 京都国立博物館（小学校社会科教育研究会との共催）
  - ※社会科教員指導力向上講座④を兼ねる
- (5) 京都市中学校生徒社会科研究発表会 令和4年11月5日（土）6日（日） 京都市総合教育センター
  - 研究発表の部 形式を変えて、ポスターセッションで実施
  - 展示発表の部 19校351点の作品を展示，両日で約400名の生徒・保護者が来場
- (6) 全国中学校社会科教育研究大会名古屋大会 令和4年11月10日（木）・11（金）
  - ウインクあいち（愛知県産業労働センター）で集合開催
- (7) 近畿中学校社会科教育研究大会兵庫大会 令和4年11月18日（金）
  - 姫路市総合教育センターで集合開催
- (8) 社会科教員指導力向上講座⑤ 令和5年1月18日（水）（小総）授業実践力向上講座③ 合同実施
  - 若手中堅教員向け授業実践 問題解決的な学習展開の指導のポイント
- (9) 近畿中学校社会科教員交流会 令和5年2月 和歌山県
- (10) 中学生体験教室 2下旬～3月上旬予定

## 4. 今後の課題

- (1) 学習指導要領が全面実施となり，改めて①「単元」と「単元を貫く問い」を設定し，「見方・考え方」を働かせて課題を解決するとともに，そこで身に付けた学びを次の学習に生かすことができる単元の開発を行う。②「見方・考え方」を働かせて，社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連等を考察したり，社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする学習の充実を図る。
- (2) 日々の授業の中で，習得した知識・技能が思考・判断・表現において活用できることや，思考・判断・表現の中で知識・技能が生きて働くものとして習得されるなど，「主体的・対話的で深い学び」の視点から，学習過程の質的改善に取り組む。
- (3) 近畿中学校社会科教育研究大会京都大会に向けて活動を再開し，自主勉強会を復活させ，本研究会の活性化とともに若年教員の育成を目指す。

# 【数学部会】

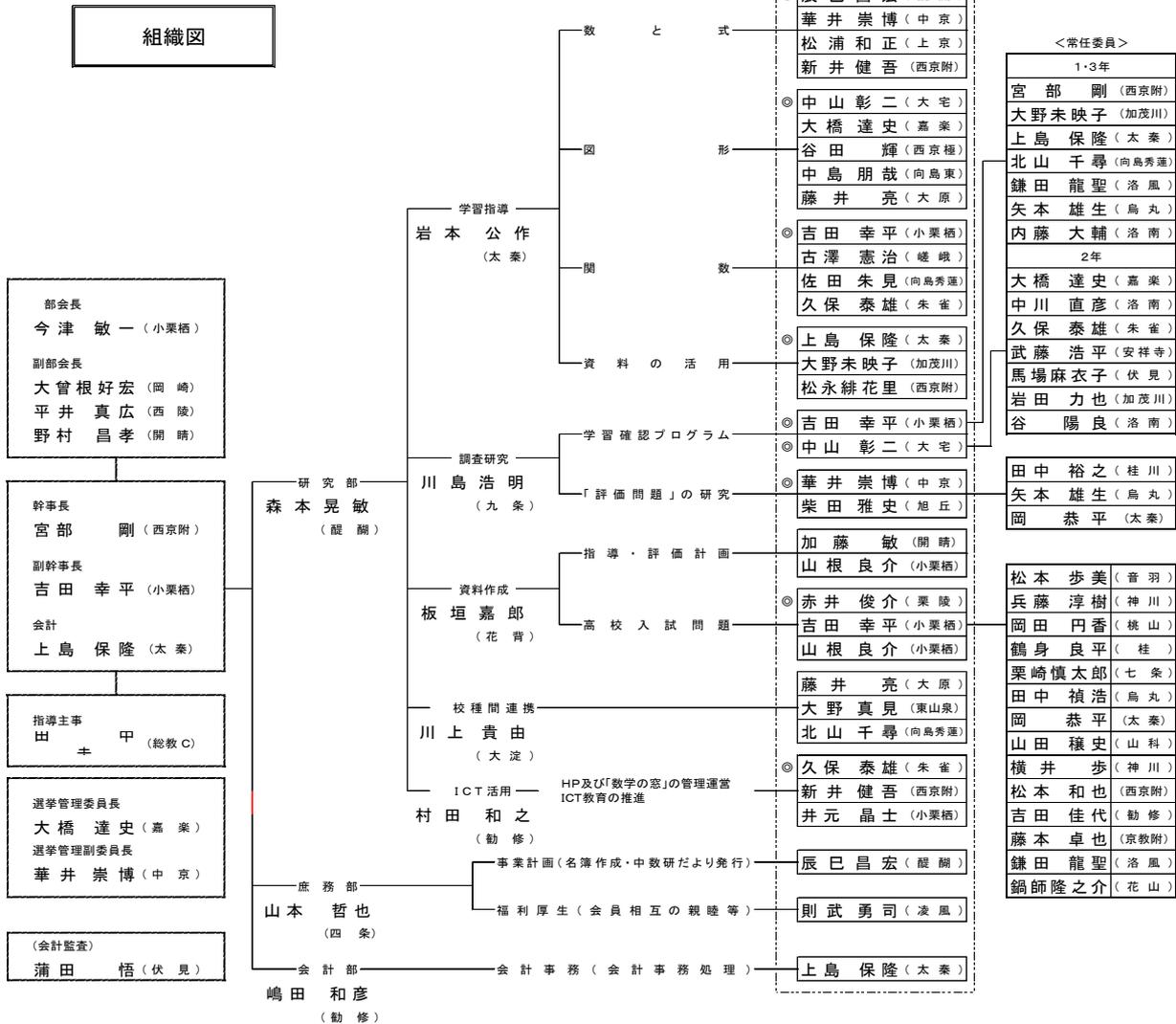
通称: 中数研(ちゅうすうけん)

## 【1】組織・役員

会員数: 346名

事務局: 小栗栖中学校

令和4年度 京都市立中学校教育研究会・数学部会



- ◆参与 加藤正人・畑中規良(教職員人事課)・油谷 昇・山口達也・坂本竜太郎(生徒指導課)・土肥明男・寺井 淳(総教C)・石飛 聡(生涯学習部)
- ◆顧問 中村季弘(大宅)・梅野正之(旭丘)・井尻 滋明(白河総)・石居樞夫(下鴨)・諏訪 正(松原)・西岡 繁穂(朱雀)・尾中 尚史(双ヶ丘)  
高橋 俊行(大原野)・崎 正志(北野)・西村智也(椋原)・矢野 卓也(西賀茂)・三田村 高秀(桂)・福知賢二(太秦)

## 【2】研究テーマ・具体的活動

### 【研究テーマ】 学習指導要領における指導と評価の一体化を見据えた授業改善

～ICTの積極的な活用を視野に入れて～

- ① 学習確認プログラムの充実と改善に向けての問題及び結果の分析と検討及び全国学力・学習状況調査
- ② 公立高校学力検査問題及び私立高校入試問題の収集とその分析
- ③ 京都市の課題に即した学習指導基準案の開発研究と実践交流
- ④ 指導力向上のための取組としての研究授業の積極的な実施と充実
- ⑤ 近畿算数数学研究京都大会の実施に当たり役員としての参加
- ⑥ 4年度島根大会(全国)・京都大会(近)・5年度青森大会(全国)・滋賀大会(近畿)に向けた研究
- ⑦ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の研究
- ⑧ 研究会が培ってきた成果の新しい研究会HPへのアップを推進し、成果の共有化と指導の改善の効率化
- ⑨ GIGAスクール構想におけるICTの活用及び教材研究や教具開発と活用の推進
- ⑩ 「評価問題」の指導事例の作成とその活用方法の研究
- ⑪ 若手教員の研究会活動への積極的参加を促す創意工夫の推進
- ⑫ 支部授業研への基準案の提案

## 【3】今後の課題

- ・数学の授業において指導と評価の一体化を見据えた授業改善
- ・算数科との連携により、小中一貫教育推進のための教材開発及び授業研究を行う
- ・タブレット等のICT機器を活用した授業の実践とその効果の検証
- ・プロジェクトホルダ「数学の窓」の整理及び一層の活用
- ・新しい研究会HPの活用と、活性化による外部への研究成果の発信
- ・全国学力・学習状況調査問題や定期テスト問題等を中心とした評価問題の分析及び研究
- ・令和5年度の近畿算数・数学教育滋賀大会に向けての取組
- ・近畿算数・数学教育京都大会を終えて組織の再編
- ・中数研だよりの発行

# 【理科部会】

通称：中理研(ちゅうりけん)

会員数：311名 事務局：西京極中学校内

## 【1】組織・役員

会長：東郷伸也(西京極中学校)

副会長：森廣伸一(洛風中学校)、山田敦(下京中学校)、笠原光徳(松原中学校)、浅井晃(桃陵中学校)、安田知史(梅津中学校)

小川秀(右陰小中学校)、野村一眞(栗陵中教頭)、小笹和久(大枝中教頭)、米澤武史(洛北中教頭)、小山正直(凌風小中教頭)

上澤一馬(深草中教頭)、上田裕(桂川中教頭)、辻光裕(蜂ヶ岡中教頭)

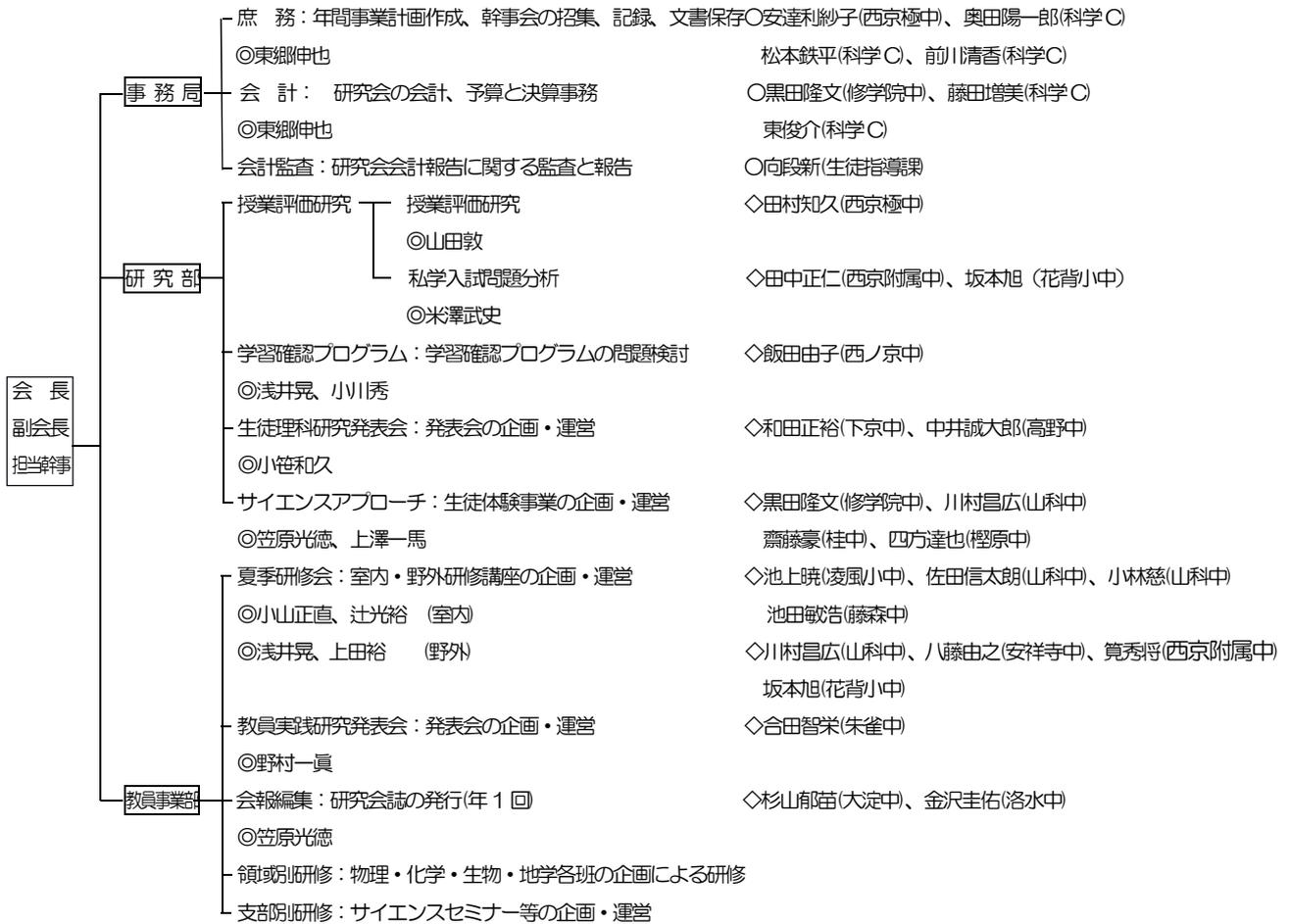
事務局：安達利紗子(西京極中)、奥田陽一郎(科学セ)、松本鉄平(科学セ)、前川清香(科学セ)、藤田増美(科学セ)、東俊介(科学セ)

黒田隆文(修学院中)、向段新(生徒指導課)

参 与：中村一郎(白河総合支援学校校長)、多田薫(東山総合支援学校校長)、岡林昌朋(祥豊小校長)、大八木智之(葛野小校長)

中大路浩一(二条中教頭)、井上俊幸(桃山中教頭)、三科俊一(学校指導課)、湯浅康次(総教C)

《 組 織 図 》 ◎役員 ○事務局 ◇担当幹事



全国中学校理科研究会・近畿中学校理科研究会担当：東郷伸也・和田正裕(下京中) ・ホームページ担当：東郷伸也・八藤由之(安祥寺中)

## 【2】研究テーマ「理科の見方・考え方を働かせて資質や能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」

### 【3】主な活動の記録

5/20 総会(オンラインで開催)

7/29 夏季研修講座(屋外：地元京都の地質と生物を調べに行こう(亀岡市))

8/5 夏季研修講座(室内：科学を楽しみましょう22)・第47回教員実践研究発表会

8/10,11 全中理三重大会 第1分科会(教育課程)で発表「知識の再構成を促し、主体的に学び続ける態度を育む」

10/22 第38回中総文「生徒理科研究発表会」(2年ぶりに対面開催)

12/17 サイエンスアプローチ「科学館へ行こう」(科学センター)

若手道場「理科指導力向上講座」など、プロジェクト研究「単元末課題の研究」など

## 【4】今後の課題 各支部で「サイエンスセミナー」を開催し、指導力向上に努める(すでに実施済の支部もあり)



通称：ちゅうおんけん

令和4年度 事務局：京都御池中学校

会員数：116人

## 1. 役員および組織

会長	山口 基之 (京都御池中学校校長)	副会長	水上 瑞穂 (修学院中学校教頭)
副会長	柿谷 隆子 (東山泉小中学校副校長)	副委員長	軸丸 総士 (京都御池中学校)
委員長	森田 幹代 (凌風小中学校)	副部長	齋藤ゆかり (洛水中学校)
研究部長	石川栄里子 (嵯峨中学校)	副部長	江口 葉 (開晴小中学校)
実行部長	野々口美咲 (東山泉小中学校)	副部長	清水 葵 (洛西中学校)
庶務部長	野口 翠里 (大淀中学校)	副部長	坪川麻里絵 (七条中学校)
会計部長	出野満里奈 (花山中学校)	会計監査	古田恵美子 (勸修中学校)
会計監査	中田真理子 (下鴨中学校)		

- 研究部：第63回近畿音楽教育研究大会京都大会の研究成果の共有  
授業改善 (教材やワークシートの研究・合唱指導や指揮の研究・評価研究等)  
授業研究チーム (表現領域【歌唱・器楽・創作分野】・鑑賞領域・伝統音楽)  
ICT活用, 調査研究 (音楽科テスト等), 小中連携, 研修
- 実行部：生徒音楽会 ※オーケストラ入門教室及び教員音楽発表会は中止
- 庶務部：常任委員会報告 文書作成・発送 資料・記録 (録画・会誌・HP)
- 会計部：委託費及び中音研の会計事務



## 2. 研究テーマ

「音楽科教育に関する研究・研修・実践及び事業の企画・運営を行い、会員同士の連携を深める」

## 3. 活動の記録

- |                |                                   |
|----------------|-----------------------------------|
| (1) 授業研究       | 授業研究チームによる研究授業の実施。若手・中堅実践道場の実施。   |
| (2) 研究授業       | 支部授業研究会にて研究授業の実施。                 |
| (3) 夏季研修会      | 7月27日 (水) 京都堀川音楽高等学校ホール (小・中音研共催) |
| (4) 生徒音楽会      | 11月5日 (土) 京都堀川音楽高等学校ホール (20校出演)   |
| (5) オーケストラ入門教室 | 中止                                |
| (6) 教員音楽発表会    | 中止                                |
| (7) 常任委員会      | 研究活動全般に渡り、事業および研修計画・課題の審議。不定期開催。  |
| (8) 定期総会       | 5月24日 (火) (総合教育センター)              |

## 4. 今後の課題

研究会としては、昨年度行われた近畿音楽教育研究大会京都大会の研究成果を全市で共有し、伝統音楽の指導に積極的に取り組む教員が増えた。夏季研修講座には、臼井学元教科調査官にお越しいただき、学習指導要領の円滑な実施に向けて「資質・能力の育成に向けた題材構想と多様な見取り」という演題でご講演いただいた。また、小中学校からそれぞれ一人1台端末を使った授業実践の報告があり、大変充実した内容となった。

また、11月5日には「第75回京都市中学校生徒音楽会」を実施した。翌日に「吹奏楽演奏発表会」を実施する吹奏楽研究会と連携し、両研究会が感染症対策について綿密に打ち合わせて実施した。

そして伝統音楽に関しても、継続的に調査・研究活動を行っている。来年度もこの厳しい状況は続くと思われるが、今後も我々音楽科教員は、学習指導要領の趣旨を生かした授業を構築するために授業改善に努め、本研究会はその基盤となる研究会活動をさらに推し進めていく必要がある。

# 【美術部会】

通称:中美研(ちゅうびけん)

## 【1】組織・役員

会長 諏佐 憲治(衣笠中学校校長)  
副会長 乾 茂樹(藤森中学校教頭) 河内 茂 (加茂川中学校教頭)  
幹事長 山本 司(蜂ヶ丘中学校)  
副幹事長 湯口みゆき(洛北中学校)  
研究部長 若狭 愛 (朱雀中学校)  
事業部長 木下 藤栄(神川中学校)  
広報部長 濱田 裕司(松尾中学校)  
庶務・会計 市川 由子(梅津中学校) 山本 司 (蜂ヶ丘中学校)  
会計監査 飯沼 隆弥(修学院中学校) 西岡 有咲(久世中学校)

## 【2】研究テーマ

### 『生きることの充実 豊かな未来へと導く美術の学び』

- 学校教育全体を視野に入れた美術教育を推進する
- 思考・判断・表現の力につながる、確かなねらいを持つカリキュラムと教材を開発する
- 生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業デザインを探究する
- 生涯にわたり美術を味わい続けるために、京都ならではの連携を図る

## 【3】活動の記録

\*三役会・役員幹事会(ともに月1回開催)

◆5/18 新旧役員会 ◆5/20 総会 ◆7/4 美術部顧問総会 ◆7/8 授業実践交流会 ◆7/25 小中連携講座(京都国立近代美術館) ◆8/3 京都市立美術部員による記者体験(京都国立博物館) ◆8/5 夏季研修講座(銅駝美術工芸高等学校) ◆9/16 授業実践交流会 ◆9/28~10/2 京都市児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展(京都市美術館別館) ◆11/5~11/6 京都市立中学校総合文化祭美術展(堀川御池ギャラリー) ◆11/30 授業実践交流会 ◆1/21~1/22京市立中学校美術部展(堀川御池ギャラリー) ◆1/28~29 京都府学校文化・芸術教育美術展(京セラ美術館)

## 【4】今後の課題

- ① 新学習指導要領の完全実施を機に、その内容を踏まえた授業改善に取り組み、生徒の造形的な視点に基づく資質・能力の向上を目指す。
- ② 全京都美術教育連合・京都芸術教育コンソーシアムなどのネットワークを活用した校種間連携、美術館・博物館連携、地域の美術文化を取り入れた実践等の研究を行う。
- ③ 4ブロックの支部学習会を核として、若手中堅教員をOJTで育成する。
- ④ GIGA スクール構想を踏まえた「教育のオンライン化」に向けて美術家として研究を行う。
- ⑤ 教員の若年化、入れ替わりに伴い若手教員のみならず、講師を含めた美術科教員の自主研修。

# 【保健部会】

通称：中保研 事務局：双ヶ丘中学校 会員：保健体育科教員・養護教員・保健主事

## [I] 組織・役員

会長	上田 元司 (双ヶ丘中校長)
副会長	大北 康史 (洛南中校長) 小林 鉄男 (洛西中校長)
	伊藤真里子 (向島秀連小中養護教諭) 原 秀樹 (向島東中教頭)
幹事長	木田 伸彦 (桂中)
副幹事長	東田 朗宏 (醍醐中)
広報	清水 貴幸 (洛北中) 千田 尚樹 (烏丸中)
庶務	岡見 拓 (高野中) 杉田 昇太 (大原野中)
研究	坂本 直史 (神川中) 石井恵理子 (修学院中) 安川 達彦 (大枝中)
	中村 貴泰 (神川中) 坂部 大輔 (向島秀蓮小中) 岩本 英生 (伏見中)
	村上 謙一 (近衛中) 松比良菜々 (久世中) 田本 博子 (勧修中)
	岩崎 淳史 (西京極中) 藤田 嘉一 (双ヶ丘中) 吉田 律輝 (衣笠中)
	中村 愛 (向島東中養護教諭) 重森 章子 (二条中養護教諭)

## 1. ねらい

- ・「健康に関する知識を身に付け、健康の価値を認識することで、自ら健康に関する課題を見つけ、主体的に考え、判断し、行動し、よりよく課題を解決する」
  - ・「個人生活における健康・安全に関する理解を通して、自らの健康を適切に管理し、生涯を通じて心身の健康の保持増進を図るための資質や能力の育成を図る。」
- 上記の項目を達成するために保健教育の基礎を培い、実践力向上のため、会員相互の研究活動を推進し、指導の充実を図る。

## 2. 研究主題

- ◇学習指導要領に沿った学習指導と評価について
- ◇がん教育・医薬品教育の推進について
- ◇保健教育における性に関する指導 (エイズ・性感染症を含む) について
- ◇薬物乱用防止と飲酒・喫煙を中心とした保健指導・保健学習について

## 3. 研究活動

- (1) 学習指導要領にそった学習指導方法の工夫と改善
  - ◇ICT機器の活用・養護教員とのT.T・連携についての指導法・学習についての研究
  - ◇がん教育・医薬品教育についての指導法・学習についての研究
  - ◇薬物乱用防止と飲酒・喫煙の指導法・学習についての研究
- (2) 評価と評価規準についての研究
- (3) 計画的な研修による活動の活性化 (自主学习会等)

## 4. 活動の記録

- 5月20日 (金) 保健体育研究会総会 (オンライン)
- 7月22日 (金) 夏季保健教育研修講座 (総合教育センター)
  - 伝達研修 「学習指導案作成について」 洛北中学校 教諭 清水 貴幸
  - 講義 「学習指導要領に沿った指導と評価について」 東海大学 教授 森 良一
  - 協議・演習 「がんの予防」 について指導案作成
- 10月31日 (月) 保健教育推進研修会 (横浜市)
  - 基調講演 「学習指導要領に基づく保健教育の考え方・進め方」
  - スポーツ庁政策課 教科調査官 横嶋 剛
  - 講義 「保健教育の改訂のポイント及び授業づくりのヒント」
  - 東京学芸大学教職大学院 教授 渡邊 正樹
- 1月下旬 伝達研修会 講師 神川中学校教諭 坂本 直史

## 5. 今後の課題

保健学習・保健教育における指導と評価についての研究や実践と部会の活性化

# 【体育部会】

通 称 中体研〈ちゅうたいけん〉 事務局 京都市立中京中学校内

[1] 組織・役員 会員数：京都市立中学校保健体育科教員

会 長 高田 幸信（中京） 会長代行 森 一功（桃山）  
副 会 長 森下 治樹（加茂川） 山本 慎吾（梅津）  
幹 事 長 山口 将司（東山泉） 副幹事長・研究部長 藤井 豊康（衣笠）  
幹事長代行兼研究副部長 坂部 大輔（向島秀蓮）  
事業部長 竹野 理（四条） 庶務部長 中村 貴泰（神川）  
広報・会計 久保 晴香（下京）

## 《研究部》

川野裕子（上京） 上坂 真代（西ノ京） 岸本 卓也（洛北） 清水 貴幸（洛北）  
渡部 博子（岡崎） 畑 秀哉（加茂川） 神谷 京子（藤森） 青野 悟（中京）  
濱野 真成（桂川） 篠部 拓真（加茂川） 杉村 崇志（旭丘） 森本英明（蜂ヶ岡）  
伊東 賢（伏見） 洞井 輝昌（小栗栖） 中澤 ちえみ（八条） 金澤 宏能（栗陵）  
亀井 孝昭（山科） 中村 利之（下京） 井上 源太（檜原） 森本ありさ（衣笠）  
オブザーバー 丸本眞一郎・倉田有里（附属桃山） 平山直樹・西慧精・大賀玲子（附属京都）  
調査・統計 山口 将司（東山泉） 坂部 大輔（向島秀蓮） 中村 貴泰（神川）

《庶務部》 中村 貴泰（神川） 川野 裕子（上京） 森本 英明（上京）

《事業部》 竹野 理（四条）

バレーボール 岡本 千里（檜原） 門田 幸恵（太秦）  
ダンス発表会 小山 享子（衣笠） 澤田 佐知栄（勧修） \*発表会は休止中

[2] 研究テーマ 『資質・能力を育む「学習評価」のありかた』

体育分野の授業を進めるなかで、資質・能力を育むためには、どのように評価していくのかを  
実践例と理論をもとに深める。また、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む  
ために、三観点の学習評価をどのように計画し、生徒の学習改善、教師の指導改善の活かすもの  
として実践するかを研究する。

[3] 活動の記録

- ① 授業研究 ・「各支部授業研究会」において研究テーマに係る研究協議  
・授業研究会（学びあいの会）
- ② 研修会 ・ ダンス実技講習会（夏季研）  
・柔道実技研修会  
・ 夏季指導者宿泊研修会（実技・理論研修） 学習会 新学習指導要領に向けた、  
授業展開や指導・評価の方法についての協議
- ③ 事業活動 教職員バレーボール ※今年度中止
- ④ 研究会誌「あしあと NO.44」作成

[4] 今後の課題

- ① 「主体的・対話的で深い学び」についての研究
- ② 小・中一貫教育における、体育授業についての実践事例研究の実践
- ③ 研究会独自の授業研究会を開催

# 【技術・家庭科部会】

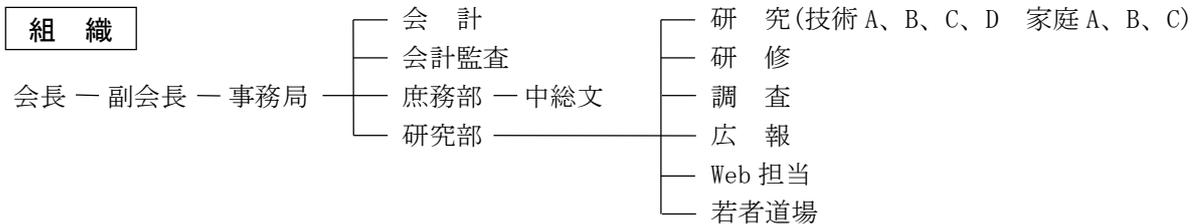
通称：中技家研ちゅうぎかけん

事務局：檜原中学校

会員数：86名

## 1 役員・組織

- ◎ 会長：土岐 文行（檜原中）
- ◎ 副会長：長谷川正己（洛北中）・小谷 昌宏（北野中）・吉川 康浩（桂川中）  
今枝潤之輔（久世中）・小滝 俊則（音羽中）・竹田久美子（向島東中）  
深尾 彰（高野中）・宮國 雅史（春日丘中）・浅井 具子（近衛中）  
逆水 由紀（花山中）・内海真奈美（安祥寺中）・田中 省吾（洛水中）  
堀内 依子（蜂ヶ岡中）
- ◎ 事務局：事務局長：向段亜希子（京都御池中）・事務局次長：柳井 拓弥（嵯峨中）
- ◎ 庶務：大竹口堯良（檜原中）・鳥井 敬子（藤森中）・野田しずか（栗陵中・醍醐中）
- ◎ 会計：大竹口堯良（檜原中）・榊原 葉月（檜原中）
- ◎ 会計監査：石井 照久（大枝中・藤森中）・二木 千裕（伏見中）
- ◎ 研究部：部長… 長井 秀樹（修学院中）・八日市律子（大淀中・二条中）  
領域長… 技術A：加志崎保貴（洛北中）・技術B：船内 朋子（勸修中・安祥寺中）  
技術C：須原健太郎（太秦中・醍醐中）・技術D：小室賢太郎（向島秀蓮  
小中・大淀中）  
家庭A：濱田 美香（勸修中・九条中）・家庭B：今川 早紀（洛南中）  
家庭C：元林 晶代（双ヶ丘中・松原中）



## 2 研究テーマ

よりよい生活の実現や持続可能な社会を構築する資質・能力を育む技術・家庭科教育

## 3 活動の記録

- 役員会(5/9、5/20、6/7、7/15、10/7、12/9、3月予定) ○総会(5/24)
- 夏季研修会 技術分野(8/2)・家庭分野(7/27)⇒技：凌風中、家：総合教育センター
- 木工チャレンジコンテスト京都市大会(9/23) ○全国大会(1/28、29)⇒オンライン開催
- 中学校総合文化祭 作品展示(11/5、6 総合教育センター)
- 研究大会参加 近畿大会(11/9 京都府)・全国大会(11/18 栃木県)⇒リモート開催
- 若手・中堅実践道場(年間5回) ○プロジェクト研究(技術2チーム・家庭2チーム)

## 4 今後の課題

- 学習指導要領全面実施に対応した指導計画・評価の研究と教材・教具の開発
- 兼務教員の増加に伴い、支部研究授業以外の授業交流や情報交換会の実施
- 各校の技術・家庭科の施設や設備、予算などの課題についての検証と対策
- 学習指導要領に対応した研究会テストの中身、実施方法等の検討

# 【英語部会】

通称：中英研

事務局：上京中学校

会員数：約350名

## 1 組織・役員

- ◎会長：上野 政弘（向島秀蓮小中）  
◎副会長：中川 潔（朱雀中）・小林 匡子（上京中）・松井 剛史（二条中）  
藤井 泉（西ノ京中）  
◎事務局：梶田 哲也（上京中）  
◎総務：菊地 順維（嘉楽中）・磯崎 隆将（大宅中）・山本 力也（小栗栖中）  
吉田 秀紀（西陵中）・寺西 大輔（山科中）・郡山 高司（藤森中）  
前嶋 武志（下京中）・塩見 登（大淀中）  
◎幹事：佐藤 亮太（衣笠中）・金谷 佳明（開晴小中）・木村 聖彦（桂中）  
馬淵 朱美（嵯峨中）

活動組織	主な活動内容
研修部	授業研修, 夏季研修など企画運営
生徒活動部	英語学習発表会企画運営
国際交流部	国際交流及び国際理解の推進（ALTと生徒との交流会企画運営）
学習改善部	学習確認プログラムの検討と改善
広報部	「英語教育通信」発行、会誌『中英研・京都』発行、HP運用
事務局	庶務(活動計画・報告)(文書・名簿管理)、会計(予算・決算)(会費管理)

## 2 研究テーマ

- 「目的・場面・状況を明確に設定して行う言語活動の充実」  
—できる姿を目標として明示し、その達成に向けた工夫と展開ある授業の研究—

## 3 活動の記録

- 5/20 総会〔オンライン開催〕  
7/28・29 夏季研修講座〔オンライン開催〕  
※28日(木) 福山市立福山中・高等学校上山晋平先生による講演  
「スピーキング指導と評価の一体化」  
～1分間英語プレゼンテーション[発表]と  
3分間トリオ・ディスカッション[やりとり]～  
8/3 ALTとのオンラインミーティング  
11/5 英語学習発表会〔会場：京都市立洛友中学校〕  
11/24 近畿公立中学校英語教育研究会連絡協議会 大阪大会〔会場：アウィーナ大阪〕  
\* 学習確認プログラム作成協力  
\* 「英語教育通信」発行  
\* ホームページにての広報活動  
\* 会報誌「中英研 京都」発行

## 4 今後の課題

- ・「目的・場面・状況を明確に設定して行う言語活動の充実」に向けた取組実践の交流
- ・思考力・判断力・表現力等の育成に向けた指導改善及び評価に関する調査研究
- ・組織の見直しと活動体制の充実

# 【道徳部会】（通称「中道研」）

◇設立年月日：S34. 7. 15（S41. 4. 1）

◇事務局：大原野中学校

## 1. 組織・役員

会長 中島一郎（大原野中校長）  
 副会長 藤井 泉（西ノ京中校長） 吉川康浩（桂川中校長） 川上貴由（大淀中校長）  
 中大路浩一（二条中教頭） 天谷千恵（高野中教頭） 上田 裕（桂川中教頭）  
 幹事長 中山芳明（藤森中） 副幹事長 藤原有佐（七条中）  
 総務部 部長：辻内祥吾（岡崎中）  
 事業部 部長：上田紗和子（開晴小中）  
 研修部 部長：長野円香（桃山中） 副部長：上山貴子（山科中）

## 2. 研究テーマ

- 生徒の学びを深める教科書教材を使った指導法～ともに考え深める授業づくりと、繋がる学びの実現～
- ・教科としての「めあて」と「評価」の一体化について、効果的な方法を探る。
  - ・「主体的・対話的で深い学び」につながる指導法について、思考の盲点に気づきを与え、学びを掘り起こす授業展開の研鑽に繋がる取り組みを発信する。

## 3. 活動の記録（他に定例企画委員会および勉強会）

5/23	◇総会 ※今年度はオンラインで「事業・会計報告」「役員選出」「令和4年度研究活動方針」等の提案並びに承認を行う。
7/26 午後のみ	◇道徳教育夏季研修講座（オンラインで開催） ・方向づけ 京都市総合教育センター 指導主事 木下 要子 ・ワークショップ 「深い学びをつくる内容項目のポイントとは～中心発問をつくろう～」 桃山中学校 岡田 円香 藤森中学校 池田 敏浩 ・まとめ 京都市総合教育センター 指導主事 木下 要子
8/2 午後のみ	◇第27回京都市道徳教育研究大会（オンラインで開催） <分科会A> 「道徳教育の充実を目指して」 ・実践発表①「『自分事』として考えを深める自作教材の開発 ～地域を生かす自作教材とその活用レシピ」 明德小学校 鈴木 佳世 ・実践発表②「リレーローテーション道徳による教材研究の推進と授業力の向上」 山科中学校 上山 貴子 ・指導講評 京都市総合教育センター 指導主事 岸本 知可 <分科会B> 「子どもたちに届く より効果的な道徳科の授業づくり」 ・実践発表①「『豊かな人間性を培い、自らの人生を切り拓こうとする心の育成』 ～松原中の道徳科の授業の進め方～」 松原中学校 福岡 万史 ・実践発表②「一人一人の思いを引き出す道徳科の授業づくり」 美豆小学校 安藤 有里 ・指導講評 京都市総合教育センター 指導主事 木下 要子 <講演> 「子どもの成長発達段階と道徳教育」 京都教育大学 教授 相澤 伸幸
11/6	◇第64回京都市中学校弁論大会（京都市総合教育センター） ・発表生徒13名
7月 10月 2月	◇道徳研だよりの発行（夏号、秋号を全市配信） ※2月号を配信予定
11月 1月	◇道徳学習会
3月頃	◇総会 「道徳研究 VOL. 64」発行

## 4. 今後の課題

- ①組織の拡充（研究会活動への参加者確保） ②授業改善のための学習会の工夫と充実  
 ③広報活動の充実（道徳だよりの充実） ④研究活動の推進

## 【特別活動部会】

### (1) 組織・役員

#### <役員>

会 長	藤井 泉（西ノ京中校長）		
副 会 長	蒲田 悟（伏見中校長）	中川 潔（朱雀中校長）	川上 貴由（大淀中教頭）
	中大路 浩一（二条中教頭）	宮國 雅史（春日丘中教頭）	
幹 事 長	松谷 元嗣（嵯峨中）		
総 務	森田 純代（岡崎中）		
常任幹事	村野 太郎（加茂川中）	野間 勇輝（双ヶ丘中）	長谷川 文彦（西京極中）
	荒木 道雄（京都御池中）	田中 淳一（春日丘中）	乾 由紀（中京中）
	田島 亮（京都御池中）	角田 千里（向島東中）	古賀 楓子（大宅中）
	河北 良美（七条中）		
会 計	沼田 勉（西京高等学校附属中）		

### (2) 研究テーマ・活動目標

- 自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方及び社会の一員としての自覚を深め、体験活動を通して人間関係を築き、自己を生かす能力を養う特別活動を進める。
- 学級活動の主体者である生徒の活動を支援する学級経営のあり方や生徒会活動のよりよいあり方について研究を進める。

#### <研究の視点>

- ① 規範意識と自尊感情、人間関係形成力、道徳性などを学級の中で高めるための学級活動のあり方について
- ② キャリア教育の視点に立った適切な進路選択を図るための学級活動のあり方について
- ③ ボランティア活動などの社会貢献に関する生徒会活動のあり方について
- ④ 型にとらわれないよりよい生徒会活動活性化の方法について
- ⑤ 体験活動を重視し、創意工夫を生かした特色ある学校行事のあり方について
- ⑥ 学習指導要領の目標・内容をふまえた特別活動のあり方について
  - ・子どもが変わる特別活動「明るい生徒」「笑顔のある生徒」「元気な生徒」
  - ・なすことにより学ぶ特別活動「原点に戻った学級活動・生徒会活動・学校行事」
  - ・人間力を高める特別活動「子どもたちに、人や社会と関わる力を育てる」

#### <具体的活動>

- ① 望ましい学級集団づくりについての研究
- ② 基本的な生活習慣、豊かな人間関係、規範意識の醸成についての研究
- ③ 体験活動をふまえた特別活動のあり方についての研究
- ④ 生徒会活動のさらなる活性化とあり方の研究
- ⑤ キャリア教育の視点から考える将来展望と適切な進路選択の指導に関する研究
- ⑥ 研究会主催の自主研修（年2回程度）を行う<10月・2月>

### (3) 活動の記録

- 5月 9日（月）第1回常任幹事会（役員委嘱について、総会及び主任会についての協議）
- 5月30日（月）特活主任及び本研究会総会<オンライン開催>  
（3年度事業報告・決算報告、4年度役員選出・事業計画・予算案）
- 6月16日（木）第2回常任幹事会（夏季研修講座について）
- 7月25日（月）特別活動夏季研修講座
- 10月11日（火）第3回常任幹事会（第1回「確かな担任力講座」について）
- 11月21日（月）第1回「確かな担任力講座」<ハイブリッド開催>
- 1月中旬 第4回常任幹事会（第2回「確かな担任力講座」について）
- 2月中旬 第2回「確かな担任力講座」
- 2月下旬 第5回常任幹事会（本年度の反省と次年度への課題について）

### (4) 今後の課題

- 学級における話し合い活動の推進
- 生き方探究パスポートの活用についての研究・資料作り・実践例の紹介

## 【教育相談（カウンセリング）部会】

通称：中カ研 事務局：岡崎中

1. 組織・役員（会員数・・・185名）
  - （会長） 大曾根好宏（岡崎中学校校長）
  - （副会長） 土岐 文行（檜原中学校校長） 今西 邦浩（近衛中学校校長）
  - 森廣 伸一（洛風中学校校長） 川上 貴由（大淀中学校校長）
  - 野川 理歩（七条中学校教頭） 粟津 亮子（洛風中学校教頭）
  - （幹事長） 宮迫嘉徳（神川中）
  - （副幹事長） 佐田信太郎（山科中）
  - （庶務） 山瀬 悟（二条中）
  - （会計） 坂本 慧介（神川中）
  - （広報） 栗林 洋平（春日丘中） 椎葉 一勲（神川中）
2. 研究テーマ・実践目標
  - ①研究テーマ「中学校教育活動における教育相談（カウンセリング）の効果的な活かし方」  
サブテーマ「～子どもや保護者の行動が示す深層に迫るためにカウンセリングに関する専門的な視点を学び、実践力を高める～」
  - ②実践目標
    1. 役員の教育相談（カウンセリング）の力量向上と充実を図る。
    2. 「専門的な視点を学び実践力を高める」研修会の立案・運営を行う。  
幹事研修会（春・冬）の立案・運営を行う。
    3. 中カ研だよりを通して、中学校現場に教育相談の視点での啓発活動を行う。
    4. 各校の教育相談週間に向けた研修資料の作成と配信を行う。
3. 主な活動の記録
  - 4月21日（木）第1回役員会 新年度の組織 研究のサブテーマ確認 総会・研修会の打合せ  
研修・事業計画の確認 会員募集・名簿作成 勉強会
  - 5月19日（木）総会・研修会  
演題「あなたのことが大切なんだと伝える言葉 ～心に寄り添うことは難しい？～」  
講師 谷口 妃都美（前 洛風中学校校長）
  - 6月2日（木）第2回役員会
  - 6月16日（木）春季幹事研修会
  - 8月3日（水）第44回京都学校教育相談研究大会 於:ウェビナー開催  
大会テーマ『次世代を担う人間形成の土台 ～心を多様な視点で見つめなおす～』  
全体会講演 『ヒトの育ちを科学の視点で理解する  
～ポストコロナ社会に生きる次世代の育ちを考える～』  
講師：明和 政子 氏（京都大学大学院 教育学研究科教授）  
研修会
    1. 「子どもの生きづらさについて考える」  
佛光大学 副学長・教授 原 清治氏
    2. 「生きのびるための非行 ～少年院における実態調査からみえてきたもの～」  
浪速少年院医療課長・精神科医 中野 温子氏
  - 10月6日（木）第3回役員会 冬季研修会の打合せ 於:岡崎中学校  
冬季幹事研修会の打合せ 勉強会
  - 10月27日（木）冬季幹事研修会
  - 11月24日（木）冬季研修会（カウンセリングセンターとの共催）  
『みんなの学校』が教えてくれたこと  
講師 大阪市立大空小学校 初代校長 木村 泰子氏
  - 1月12日（木）第4回役員会 於:洛風中学校  
次年度の取組について 中カ研だよりの発行について 勉強会
  - 3月2日（木）第5回役員会 於:洛風中学校  
次年度の総会・研修会の打合せ 次年度の取組について 勉強会

# 【人権教育部会】

通称：中人研  
事務局：梅津中学校

## 【1】組織（役員）

〔会 長〕安田知史（梅津中）  
〔副会長〕岩佐武司（凌風小中）、土岐文行（檜原中）、松井剛史（二条中）、川島浩明（九条中）  
小泉茂雄（修学院中）  
〔庶 務〕加藤寛隆（梅津中）、山口瞭介（凌風小中）、井上素子（檜原中）、  
〔会 計〕北田 惇（二条中）〔全人同教専門委員〕北村 淳（西院中）、林 秀晃（修学院中）  
〔外国人教育専門部長〕李 大佑（向島秀蓮小中）〔同和教育専門部長〕林 秀晃（洛北中）  
〔男女平等教育専門部長〕高橋俊行（高野中）〔総合育成支援教育部長〕弓削雅哉（松原中）

## 【2】研究テーマ 『個が輝く人権教育の創造』～人権教育の定着を目指す研究会組織のあり方～

## 【3】活動の記録

- (1) 5月31日（火） 「中人研総会」 （リモート開催）  
○組織の新体制について および研究主題・活動の方向性の確認をする。
- (2) 6月1日（水）～6月7日（火） 4つの「専門部会」の開催（リモート）  
（専門部長・常任委員の委嘱、部会の方針と活動）
- (3) 6月17日（金） 洛友中学校二部（夜間）学級見学学習会
- (4) 8月5日（金）「第56回中人研研究集会」 午後 於：京都市立凌風小中学校  
（テーマ）『個が輝く人権教育の創造』～すべての生徒に同和問題をはじめとするあらゆる人権問題解決への実践的態度の基礎を培う～  
○方向づけ 加藤寛隆（梅津中）・芳尾聖哉（太秦中）他 方向付け作成委員会  
○実践報告 7校より報告～分散会を行う。
- (5) 8月8日（月）～9日（火） 第41回全国在日外国人教育研究集会 鳥取大会
- (6) 10月11日（火） 「第56回京都市人権教育研究集会」（約120名参加） 於：京都市総合教育センター  
（テーマ）『個が輝く人権教育の創造』  
～同和教育の成果を基盤として、すべての児童・生徒にあらゆる人権問題解決への実践的態度の基礎を培う～  
○基調提案 加藤寛隆（梅津中） 他 基調提案作成委員  
○実践提案 体験型学習で学びを深める人権学習「世界がもしも240人の学年だったら」（京都御池中）  
「明るく楽しい人権学習の一提案～ジブリで考える人権～」 （九条中）
- (7) 11月26日（土）～27日（日） 「第73回全国人権・同和教育研究大会」 於：奈良県  
「明るく楽しい人権学習の一提案～ジブリで考える人権～」 報告：坂田良久（九条中）
- (8) 民族の文化にふれる集い 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- (9) 2月25日（土） 「第54回人権交流京都市研究集会」 於：ロームシアター京都他  
○基調提案 安田知史（梅津中） 松井剛史（二条中） 岩佐武司（凌風小中）  
林 秀晃（修学院中） 北村 淳（西院中） 加藤寛隆（梅津中） 芳尾聖哉（太秦中）  
○第1分科会 川島浩明（九条中） 弓削雅哉（松原中） 小西将三（藤森中） 高橋俊行（高野中）  
坂田良久（九条中） 松比良菜々（久世中） 高橋 明（春日丘中）  
○第2分科会 土岐文行・井上素子（檜原中） 小泉茂雄（修学院中） 間野郁夫（洛友中）  
李 大佑（向島秀蓮小中） 佐藤高文（嘉楽中）

## 【4】今後の課題

- 今年度も、新型コロナウイルス感染の関係で影響があったが、昨年の経験を踏まえ、知恵と工夫を集め、見直しをすすめることができた。次年度、働き方改革の視点からもさらに見直しを進めていきたい。
- これまでに同和教育が大切にしてきたものを継承・発展させ普遍化する。
- 同和問題をはじめとした人権問題認識の深化を図る実践・研究をさらに推進するため、中人研としての活動と4専門部会の活動を充実させる。
- 継続的に研究会活動に関わっていける人材の育成を目指し、次の世代への人権教育の継承を確かなものにする。

# 【教務部会】

## 1. 組織・役員（会員数 77 人）

部会長	小野 高志(洛水中学校長)		
副部会長	林 秀雄(松尾中学校長)	副部会長	嶋田 和彦(安祥寺中学校長)
幹事長	杉本 千恵(桂中学校教務主任)	副幹事長	奥園 祐子(音羽中学校教務主任)
庶務	北山 千尋(向島秀蓮小中学校教務主任)	会計	中田 晶夫(中京中学校教務主任)
北・上京支部	石田 誠(上京中学校教務主任)	中京支部	岩本 信吾(朱雀中学校教務主任)
下京・南・東山支部	下川 剛史(東山泉小中学校教務主任)	左京支部	邊見 聡(高野中学校教務主任)
山科・醍醐支部	岩崎 俊輔(花山中学校教務主任)	右京支部	今岡 和貴(梅津中学校教務主任)
西京支部	谷口 信一(桂川中学校教務主任)	伏見支部	川口 豊(洛水中学校教務主任)

## 2. 研究テーマ

『教務主任の責務と課題を自覚し、学校教育目標実現に資する教務主任の役割を研究する』

管理職を除く教職員組織の中で、教務主任が果たす役割は大きく、特に教育課程編成における諸課題への対応研究を通し、学校運営の円滑化や学校教育目標の実現に向け、教職員組織の中核としての意識を高め、いかにそれを実現していくかを研究の主たる目標とする。

また、全市に展開されている「カリキュラム・マネジメントの実践」もさらに推進していくために必要な研鑽を重ねる。さらに、充実期となった「GIGAスクール構想」の適切な活用を研修するとともに、コロナ禍による教育課程への影響を最小限にする各校の工夫を共有する。

## 3. 活動の記録

- 各支部で教務主任会を実施（11回）、各校の情報を共有し合い、よりよい学校運営に供する話し合いを実施。
- 各月の教務主任幹事会を実施し（10回）、各支部での状況を把握すると共に工夫や課題克服に向けた情報を交換し合い、各支部に情報を還元することで情報を共有しあう。
- 5.23(月) 全市教務主任総会および研修会  
総会を書面により実施し研修会は中止
- 10.24(月) 全市教務主任研修会  
講演「「資質・能力を柱とする学校教育～小中一貫した学校経営の視点からの提案～」  
学校指導課参与 京都まなびの街生き方探究館参与 初田 幸隆 先生
- 11.7 (月) 教務部会および進路指導部会代表者連絡協議会

## 4. 今後の課題

- ① 教務主任の役割や責務の自覚及び各校の教育指導計画実現に向けた取組
- ② 教育課程編成における諸課題の明確化と研究・研修
  - \*働き方改革を踏まえた教育課程編成の実施
  - \*若手を中心としたOJT研修の情報交換・充実
  - \*コロナによる教育課程への影響の最小化
- ③ 魅力ある教職を目指し、学校運営の効率化にむけた働き方改革の実践と研究
- ④ 校務支援システムの円滑な運用と成績処理の合理化と改善

# 【生徒指導部会】

通称：生指研（せいしけん）

事務局：下京中学校

1. 組織・役員 〈会員数…300名〉 ◎…部長
- 会長 山田 敦（下京）
- 副会長 森本 晃敏（醍醐） 岩田 智典（東山泉） 竹田久美子（向島東）
- 石田 裕之（栗陵） 川上 貴由（大淀）
- 藤川 佳久（四條） 柴崎 恭江（京都御池） 上田 裕（桂川）
- 幹事長 眞田 宗明（嘉楽）
- 幹事長補佐 平山 直樹（京都教育大学付属京都小中学校）
- 副幹事長 松本 啓吾（勸修） 一谷 武志（京都御池） 須崎 徳馬（嘉楽）
- 庶務◎白井 純子（東山泉） 小泉 純子（久世） 吉浪 有香（烏丸）
- 会計◎河副 純子（西陵） 磯田亜沙美（神川）
- 研究部◎川崎 大輔（北野） 宮迫 嘉徳（神川） 曾田 直（西院）
- 徳永 圭佑（下鴨） 大岡 将造（桃凌） 立入 靖規（下京）
- 調査部◎磯貝 聡（檜原） 坂本 直史（神川） 宮本 慶吾（音羽）
- 朝倉 将宏（修学院） 千本 芳久（洛水） 星野 大亮（東山泉）
- 大崎 浩（京都御池） 増田明日香（下京） 東 なつき（嘉楽）
- 平塚 龍樹（嘉楽） 田島 学（岡崎） 清水 貴幸（洛北）
- 広報部◎栗林 洋平（春日丘） 竹野 理（四條） 福田 優祐（花背） 山下 壘（桂川）
- 小西 俊伸（音羽） 福田 京介（旭丘） 坂田 悠介（桂）
- 福本 徹也（松原） 栗崎慎太郎（七条） 岡本 純平（桂）

## 2. 研究テーマ 「生徒の自己指導能力を育てるために」

“生徒指導の三機能”を活かした開発的生徒指導の研究～不登校を未然に防ぐ居場所づくり～

本研究会では、生徒たち自身が生活の中での問題に気づき、その時その場で何が正しいかを判断し行動する力、すなわち「自己指導能力を育てること」を生徒指導のねらいとして取り組んできた。今年度、本研究会では、“生徒指導の三機能”の視点をもって不登校を未然に防ぐための居場所づくりに焦点を当て研究をした。定例の役員会や夏季幹事研修会を通して、生徒との関わりの中で、教師から生徒へのアプローチ、生徒が発するサインの受けとめ方、生徒同士をつなぐ仕掛けづくり等、生徒の居場所づくりが絆づくりに発展させていく指導・支援の在り方について研修を重ねた。居場所づくりチェックシート（教師用、生徒用、解説）を作成し、研究を進めている。また、ワークショップの開催、近畿中学校生徒指導研究協議会京都大会での実践発表、大阪府立西成高校の山田勝治校長を講師に迎え深い生徒理解から適切な指導・支援につなげる学習会など、充実した活動を行うことができた。これらの研究活動について研究冊子『あゆみと研究』を通して、広く発信し次年度の研究につなげる予定である。

## 3. 活動記録

- ◇毎月の役員会の実施 ◇研究・調査・広報がそれぞれの分野で活動（広報紙を毎月発行）
- ◇夏季生徒指導幹事研修会の開催（8月）
- ◇生徒指導ワークショップ（10月） →
- ◇近畿生徒指導研究協議会：京都大会（11月）
- ◇生徒指導研究会役員学習会（1月）
- ◇「あゆみと研究」の発行（補連との共同）



## 4. 今後課題

- 小中研究会連携のもと、「生徒指導の三機能を生かした授業づくり・学校づくり」を広めていく。

# 【進路指導部会】

通称:中進研

事務局:安祥寺中学校内

1. 組織・役員 会員数:79名(79中学校・小中学校・総合支援学校進路指導主事で組織)  
部会長 嶋田和彦(安祥寺中校長) 副部会長 今枝潤之輔(久世中校長)、野村昌孝(開晴小中校長)  
幹事長 本好正明(洛北中) 副幹事長 澤田智洋(洛南中) 岡本一義(西京極中)  
庶務 長行司大也(加茂川中)、足立武史(西陵中)  
会計 満田 晋(下鴨中)、石井 充(春日丘中)

## ◆ 組織内での仕事内容

- 幹事会:活動全般の企画・立案、会誌作成、進路指導上の課題の研究と対応
- 支部会(北・上、中京、下京・南・東山、左京、山科・醍醐、右京、西京、伏見の8支部)  
支部研修の立案(支部幹事)、実践交流、進路情報の交換、進路希望調査と分析等
- 専門委員会  
・現職教育部会:新任研修、職場・高校見学の企画  
・生き方指導部会:進路学活資料、進路保護者会資料の充実、キャリア教育推進  
・進学部会(国公立・私立):入試の諸課題、希望調査、進学指導資料、中高連絡会  
・定通制・就職:定時制や通信制の状況、就職状況、ハローワーク・就職者の課題、各種学校  
・人権教育:人権上大きな課題を背負う生徒の進路保障、支援生徒進路

## 2. 研究のテーマ

主題「一人一人の自己実現に向けて、個性の伸長と適性に応じた進路指導の充実をはかる。

～生徒の進路保障を目指して～

- ① キャリア教育・生き方指導としての進路指導の充実
- ② 進路選択(就職・進学等)に関する流動的諸問題の解決
- ③ 情報交換や、小中・中高連携による進路指導の充実
- ④ 進路指導主事の職務に関する研修の充実と校内体制の確立
- ⑤ 奨学金・修学(就学)資金等の制度の理解と周知の徹底

## 3. 活動の記録

### (ア) 年間の活動状況

- 総会 年間3回、全体会 年間 10 回
- 支部会 年間6回
- 専門委員会 年間7回
- 中高連絡会 適宜
- 私学連合会との協議会 7/8
- 夏季研修会 8/3・4・5
- 私立高校合同入試説明会 8/18・19・22
- 公立高校選抜要項説明会 9/9～(オンライン)
- 人権進路研修会 11/11
- 近畿進路指導協議会 11/2 奈良
- 定通制協議会 10/28
- 進路展望の拡大と情報収集 年間 10 回程度
- 新任研修 5/20、10/7

### (イ) 活動内容

- 公立高等学校の教育制度についての研究
- 研究テーマに沿った研修と実践交流
- 進路学活の資料作成と研修
- 入試内容と面接、小論文(作文)内容の調査、資料作成
- 進路志望調査とその分析、指導の方向性の検討
- 高校や関係諸機関との協議会
- 育成学級生徒の進路と職業学科についての研修
- 経済的支援制度についての研修
- 中卒就職者の進路指導上の課題についての研修
- キャリア<進路>ノートの活用の研修
- 公立定通制進学者の進路指導上の課題についての研修
- 外国につながる生徒の進路指導
- 進路指導主事の実務についての研修
- 配慮を要する生徒の受検(受験)に関する情報交換、研修

## 4. 今後の課題

- ① 公立高校の教育と選抜制度改革に対する中進研としてのよりよい進路指導を検討
- ② 進路状況の変化への対応と生徒の「将来展望」を見据えた進路指導の確立
- ③ 進路指導主事としての指導力や情報収集力の向上に向けた時間の確保とガイダンスの充実
- ④ 生徒一人一人への的確な進路情報の提供
- ⑤ 進路指導資料の充実と校内の進路指導体制の確立
- ⑥ 生徒一人一人が自分の適性を発見し、自ら進路選択できる力を身につける進路学活の研究と交流
- ⑦ 職場体験学習、高校体験学習など総合的な学習の時間と関係づけたキャリア教育を基軸とした進路指導のあり方を研究(キャリア<進路>ノートと「キャリアパスポート」の活用)
- ⑧ 人権に関する課題を背負わされている生徒、不登校生徒、障がいのある生徒や支援を必要とする生徒の進路展望の拡大
- ⑨ 卒業後の進路及び追指導をもとにした関係機関との連携の充実と未就職者の実態把握
- ⑩ 国・府・市の高校授業料に関する支援金や奨学金等の経済的支援制度に関する周知の徹底
- ⑪ 幹事会の世代交代、次第おくりに向けた人材の育成

# 【 安全教育部会 】

通 称：中 安 研

事務局：蜂ヶ岡中学校内

## 【1】組織・役員

会 長 勝原 雅美（蜂ヶ岡中校長）

副会長 森 一功（桃山中校長） 小川 秀（宕陰小中校長） 逆水 英治（烏丸中校長）

幹 事 小林 碧（八条中教諭） 森田 敏治（桃山中教諭）

## 【2】研究主題

『生徒自らが自他の安全を守るための実践力の育成』

～適切な安全指導・安全管理を通して～

## 【3】研究内容

- (1) 学校安全計画による安全教育・安全管理の推進と教職員の防災意識の向上
- (2) 「安全の手引」「安全ノート」を活用した授業研究
- (3) 防災設備などの校内環境の点検・整備
- (4) 安心・安全な地域を目指しての地域連携
- (5) 警察署や消防署などの関係諸機関との連携  
※学校保健会との連携を密にし、研修を深める。  
※学校と地域との防災面での繋がりを考える。

## 【4】活動の記録（年間行事および活動状況）

- ・ 4月22日（金） 役員会（会則確認・組織・年間計画など）…書面にて
- ・ 5月17日（火） 京都市学校保健会第1回常務委員会
- ・ 6月 5日（日） 第73回指定都市学校保健協議会（熊本市，オンライン開催）
- ・ 7月12日（火） 京都市学校保健会理事会・評議員会
- ・ 7月28日（木） 第44回近畿学校保健連絡協議会（滋賀県栗東市）
- ・ 9月13日（火） 京都市学校保健会第2回常務委員会
- ・ 10月18日（火） 京都市学校保健会健康教育シンポジウム
- ・ 11月 8日（火） 独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議
- ・ 11月10日（木） 全国学校保健・安全研究大会（岩手県盛岡市）
- ・ 11月11日（金） //
- ・ 11月19日（土） 研究発表会・表彰式
- ・ 3月 3日（金） 今年度の反省と今後の研究課題について打ち合わせ

## 【5】今後の課題

- (1) 安全教育の意識を高めると共に、安全教育の研修の向上と強化を図る。
- (2) 発信の一層の充実と活動の推進
- (3) 安全学習の指導力の向上

# 【情報教育部会】

通称名 : 中情研(ちゅうじょうけん)  
事務局 : 久世中学校

## 【1】組織・役員 (会員数80名)

会長	: 今枝 潤之輔 (久世中)	常任幹事長	: 吉田 幸平 (小栗栖中)
副会長	: 長谷川 正己 (洛北中)	副幹事長	: 阿部 真弥 (太秦中)
〃	: 森本 晃敏 (醍醐中)	常任幹事	: 多那瀬 真穂 (大枝中)
〃	: 深尾 彰 (高野中)	〃	: 齊藤 由三 (松尾中)
庶務	: 多那瀬 真穂 (大枝中)	〃	: 和田 正裕 (下京中)
会計	: 岡田 高芳 (上京中)	〃	: 岡田 高芳 (上京中)
会計監査	: 長井 秀樹 (修学院中)	〃	: 川村 昌広 (山科中)
研究部長	: 和田 正裕 (下京中)	〃	: 古澤 憲治 (嵯峨中)
研修部長	: 齊藤 由三 (松尾中)	〃	: 長井 秀樹 (修学院中)
事業部長	: 古澤 憲治 (嵯峨中)	〃	: 須田 翔大 (二条中)
		〃	: 西浦 誠人 (加茂川中)
		〃	: 阿部 真弥 (太秦中)
		〃	: 鈴木 一正 (二条中)
		〃	: 吉岡 竜太 (山科中)

## 【2】研究活動方針

- 《研究部》
1. GIGA 端末を利用した効果的な I C T 活用の研究
    - ・教育ソフト, コンテンツの活用方法及びプログラムの研究
    - ・情報教育機器の研究
  2. 情報教育の実態調査と課題解決のための研究
    - ・光京都ネット内コンテンツの効果的な活用
    - ・インターネットの効果的な活用法と課題
  3. 中学校におけるプログラミング教育についての研究
- 《研修部》
1. I C T 活用, 情報教育機器活用に関する研修の企画・運営
  2. 情報モラル, セキュリティに関する研修の企画・運営
  3. その他研修会(伝達研修・その他)の企画・運営
- 《事業部》
1. 公開授業(支部・全市)の企画・推進・まとめ・報告
    - ・情報モラルに関する授業の交流
  2. 研究のまとめ
    - ・研究会のまとめ作成
    - ・中情研ホームページづくり・更新
  3. 情報教育の広報活動
    - ・ソフトウェア, 部会の取組等の紹介
    - ・子ども体験教室の企画, 実施
  4. 情報教育機器の活用に関する工夫についての発信
    - ・冊子, ホームページでの紹介等

## 【3】活動の記録

5月11日	旧幹事会(部会長選出・総会準備・教職員研修会企画)	オンライン
5月12日	総会 → 資料配付	
8月2日	教育情報化総合研修会(総合教育センター)	
9月5日	常任幹事会(第1回子ども体験教室企画・情報交換)	オンライン
10月27日	常任幹事会(第1回子ども体験教室準備・情報交換)	松原中学校
11月5日	第1回子ども体験教室 「スクラッチでロボットカーを動かそう」	松原中学校
12月9日	常任幹事会(第2回子ども体験教室企画・情報交換)	久世中学校
1月予定	常任幹事会(第2回子ども体験教室準備・情報交換)	松原中学校
2月予定	第2回子ども体験教室	松原中学校
3月予定	常任幹事会(年度末総括)	久世中学校

## 【4】今後の課題

- ・学力向上をめざした G I G A 端末・ソフトウェアの活用研究
- ・情報安全教育・情報モラル教育・プログラミング教育のより一層の推進
- ・中情研組織の活性化
- ・「子ども体験教室」の在り方
- ・総会・教員研修会の在り方
- ・各校において G I G A スクール時代の中心的役割を担える技術や知識の習得研修

# 【図書館教育部会】

通称 図書研(としよけん)

## 1. 組織・役員 (会員数 19人)

部会長	瀧本 祐一郎 (大原小中学校校長)		
副部長	岩田 智典 (東山泉小中学校校長)	林 秀雄 (松尾中学校校長)	
	高橋 佳久 (七条中学校校長)		
幹事長	岩見 洋一郎 (桃陵中学校教諭)		
庶務	長谷川万美子 (勤修中学校教諭)		
会計	山口 さやか (太秦中学校教諭)		
会計監査	樋口 孝枝 (大枝中学校教諭)		
役員・委員	糸原 登代美 (洛友中学校教諭)	末永 理紗 (勤修中学校教諭)	
	藤原 美仙 (西京極中学校教諭)	井上 彰子 (西総合支援学校教諭)	
	市原 まゆ美 (京教大付属京都小中学校教諭)		
	中辻 佳代 (松尾中学校教諭)	中井 文栄 (音羽中学校教諭)	
	小倉 望 (開晴小中学校教諭)	後藤 さやか (上京中学校教諭)	
	片山 幸子 (上京中図書館司書)	小村 美幸 (洛北中図書館司書)	

## 2. 研究テーマ

今、求められている「生きる力」の育成実現のため、「主体的・対話的で深い学び」を視点においた学校図書館や公共図書館の在り方について

## 3. 活動の記録

- 5月 総会・研修会 (書面決議)
- 5月2日(月) 第39回京都府学校図書館研究大会実行委員会 会場:西乙訓高校
- 6月 役員会(年間計画など) (書面での開催)
- 6月28日(火) 第39回京都府学校図書館研究大会実行委員会 zoom開催
- 6月29日(水) 第1回「子どもの読書活動推進のための懇談会」会場:京都市生涯学習総合センター(アスニー)
- 7月 すいせん図書一覧表 作成・全市配信
- 7月8日(木) 京都府学校図書館協議会準備委員会 会場:オンライン
- 7月30日(金) 第39回京都府学校図書館研究大会準備会 会場:長岡第6小学校
- 7月 第68回全国青少年読書感想文コンクール 募集案内
- 8月 中・総 学校図書館活用推進研修会 未実施
- 9月2日(金) 第39回京都府学校図書館研究大会実行委員会 zoom開催
- 10月21日(金) 第39回京都府学校図書館研究大会 会場:長岡京市中央公民館
- 10月24日(月) 第68回全国青少年読書感想文コンクール一次(京都市)審査 会場:桃陵中学校
- 11月 4日(金) 第68回全国青少年読書感想文コンクール一次(京都府)審査 会場:こども未来館
- 11月 京都市中学校ビブリオバトル大会 中止
- 11月28日(月) 第31回京都図書館大会(オンライン)
- 12月2日(金) 第2回「子どもの読書活動推進のための懇談会」会場:京都市生涯学習総合センター(アスニー)
- 1月16日(月) 第34回「京都府読書感想画コンクール」中高の部合同審査会 会場:紫竹小
- 1月22日(日) 第68回全国青少年読書感想文コンクール表彰式 中止
- 2月 役員会(年間総括等)
- 3月 第3回「子ども読書活動推進のための懇談会」 場所:京都市生涯学習総合センター(アスニー)

## 4. 今後の課題

研究活動の充実のための体制づくり、活動の実現を図る

- ・ 対面開催の役員会を再開し、新たな会員の獲得・拡大により、持続可能な部会運営を追求する。
- ・ プレゼン力・読解力・コミュニケーション力などをゲーム感覚で培う「ビブリオバトル」の次年度再開・推進を図る。
- ・ 読書・学習・情報センターとしての学校図書館機能を充実させる取組を発信する。
- ・ 各校図書館教育担当者への情報発信や取組参加依頼を通して、各校の図書館教育の活性化を推進する。
- ・ 支部図書館教育担当者会を実施するなどし、支部活動の活性化を目指す。
- ・ 公共図書館との連携を進める中で、主体的に読書に親しむ環境づくりの推進を図る。

# 【発達障害教育部会】

通 称：中発研

事務局：大枝中学校内

## 〔1〕組織・役員 会員数・・・151名

会 長 小田 浩之（大枝中学校長）

顧 問 上野 政弘（向島秀蓮小中校長）・大北 康史（洛南中学校長）

副会長 丸 民代（西ノ京中）・多那瀬 真穂（大枝中）

幹 事 竹中 由佳（北野中）・仲谷 美穂（山科中）・堀井 俊克（神川中） 庶務 多那瀬

田中 緑（洛北中）・棚田 夫佐子（下京中）・弓削 雅哉（松原中） 会計 丸・棚田

## 〔2〕研究テーマ 『一人ひとりを大切に、発達の可能性を最大限に伸ばす教育をめざして

～将来に向けて今つけるべき力を考える～』

## 〔3〕活動の記録

### （1）年間行事・活動一覧

月 日	行 事	会 場
7月1日	合同球技大会	島津アリーナ
7月28日・29日	施設見学研修会・夏季情報研修会	オムロン京都太陽・加茂川中学校
8月5日	近特連大阪市大会	大阪市立こども文化ホール
8月17日～19日	夏季宿泊学習(サマーキャンプ)	花背山の家
8月29日～9月2日	科学センター学習	青少年科学センター
9月28日～10月2日	京都市幼児児童生徒作品展、姉妹都市交歓作品展	京都市美術館 別館
11月11日	全特連秋田県大会 → 紙上開催	秋田県
11月25日	合同運動会	島津アリーナ
12月13日	第47回京都市総合育成支援教育実践研究発表大会	京都市総合教育センター
1月14日・16日	第91回京都市中学校生徒書き初め展	京都市総合教育センター
2月2日～5日	第45回大合同作品展「小さな巨匠展」	京都市美術館 別館
2月14日～16日	冬の宿泊体験学習	花背山の家
3月	研究紀要「麦の芽」(第72号) 編集・印刷	京都市総合教育センター

（2）幹事会 毎月第1火曜日 大枝中学校、北野中学校、Zoom(オンライン)

（3）定例会 毎月第2火曜日 総合教育センター、Zoom(オンライン)

## 〔4〕今後の課題

- （1）合同行事の意義を踏まえつつ、全会員の協力体制の構築、さらなる内容の充実を目指して検討する。
- （2）講師が半数を超えた現状を鑑み、障害・発達に応じた教育課程の自主編成に役立てるためによりよい指導計画の検討や実践事例研究、教材・教具の開発等の充実を図る。
- （3）高等部職業学科(白河・東山・鳴滝)及び普通科への進路指導の進め方を確認・徹底すると共に定時制・通信制や私学など支援学校以外の進路希望の増加と多様化を踏まえ、進路保障・進路指導の充実を図るために、これまで以上に研究や情報交換をすすめる。
- （4）育成学級に入級してくる生徒の障害の多様化に伴い、育成学級の運営や活用における問題、就学指導や発達障害のある生徒への支援の在り方、LD等通級指導教室との連携など様々な検討課題がさらに増加している。研究会として、今後も大きな視野に立って継続的に検討していく。

# 【二部学級部会】

通称：二部研

## 1 組織・役員

会長	間野 郁夫 (洛友中校長)	研究部	城戸 美乃 (洛友中教諭)
副会長	土岐 文行 (樫原中校長)		朝岡 洋一 (洛友中教諭)
〃	西村 府子 (洛友中教頭)	〃	尾崎 北斗 (洛友中常勤講師)
総務部	細井 雅博 (洛友中教諭)	〃	内田 直 (洛友中常勤講師)
研究部	若松 栄一 (洛友中教諭)	〃	川村 紗穂 (洛友中常勤講師)
〃	中町 夕子 (洛友中教諭)	〃	伊藤 晴美 (洛友中養護教諭)
〃	新谷 路子 (洛友中教諭)	経理部	糸原登代美 (洛友中教諭)

## 2 研究テーマ・活動目標

「ひとりひとりの学びたいという願いにこたえる夜間中学校のあり方と、学びあい支えあうことをめざした学齢生徒との交流活動についての研究」

- ①多様な生徒の実態を踏まえた教科指導の研究・実践
- ②日本語指導に焦点をあてた、各教科指導におけるカリキュラムマネジメントの実践
- ③ICTを活用した授業の実践と生徒の活用能力を育てるための研究
- ④将来展望を育てるための進路指導の充実
- ⑤多文化理解と学校生活を豊かにする、文化・芸術体験活動の研究と実践
- ⑥自尊感情を育てる取組および世代や国籍を超えた学齢生徒との交流の実践
- ⑦全国の夜間中学校との交流、情報交換による取組の充実

## 3 活動の記録 (年間計画・活動状況)

- ①年間研究計画協議会 (年度当初)、次年度課題協議会 (年度末)
- ②研修会事業 (年 10 回) …生徒理解・教育課程・学習指導・進路指導・ICT 活用等
- ③夜間学級生徒調査 (年 2～3 回) …生徒実態調査・健康調査・設置校実態調査等
- ④他夜間中学校への視察、交流などの活動
- ⑤視察・人権交流・外部研修会などの随時受け入れ
- ⑥全国夜間中学校研究会 (全夜中研)・近畿夜間中学校連絡協議会 (近夜中協) に関する活動  
6/24 全夜中研理事会 11/17, 18 全国夜間中学校研究大会
- ⑦第 30 回東九条マダン作品展示参加 (10 月 30 日：元陶化小学校)
- ⑧夜間中学校への周知を図るための広報活動
- ⑨研究誌『夜空』刊行事業 (年 1 回年度末刊行)

## 4 今後の課題

- ①日本語習得程度、学習経験の違いなど、幅広い生徒実態を踏まえた学習指導のあり方についての研究と実践
- ②多様性を踏まえた組織編成のあり方についての研究と実践
- ③形式卒業者をはじめとした、個々に課題を持つ生徒への指導のあり方についての研究と実践
- ④年齢や国籍の違いなど、互いの違いを尊重し、自尊感情や社会性を育てる交流活動、体験活動の研究と実践
- ⑤主体的な学習を促し、生活を便利にするための、効果的な ICT 活用についての研究と実践
- ⑥夜間中学校を必要とする義務教育未修了者、形式卒業者の入学につながる、周知のための広報活動等の検討と実践

# 【へき地・小規模校教育部会】

中へき研（ちゅうへきけん）

事務局：宕陰小中学校

## （１）組織・役員・・・・・・・・・・ 会員数 26名

会 長	小川 秀	（宕陰小中校長）
副 会 長	板垣 嘉郎	（花背小中校長）
庶 務	有本 重厚	（宕陰小中教諭）
会 計	明田 圭子	（宕陰小中教頭）
会計監査	足立 尚弘	（花背小中教頭）
<span style="border: 1px solid black;">研究委員</span>	小林 修	（花背小中教諭）
	有本 重厚	（宕陰小中教諭）

## （２）研究テーマ・活動目標

### ○研究テーマ

学校間の連携を深める中で、へき地・小規模校の特性をふまえ、個に応じた学習指導方法を研究・推進することにより、学力と社会性を兼ね備えた生徒の育成を図る。

### ○活動目標

- ① 各教科・領域の研究活動を活発にし、各校の課題に応じた研究を推進する。それらの取組を相互に交流することにより、更なる指導力の向上を図る。
- ② 生徒の個性を伸ばし、自らの生き方を考えさせ、主体性を高めさせる研究活動を推進する。
- ③ 合同行事を通じて、生徒達の交流を深め、自主性や社会性を高める活動を推進する。
- ④ へき地・小規模校の特性を生かし、義務教育学校として9年間を見据えた教育課題について研究を深める。
- ⑤ へき地の地理的条件を克服していくために、情報機器等の積極的な活用を推進する。
- ⑥ へき地校の変容を踏まえ、小規模校との連携を深め、今後の研究会活動の改善と推進を図る。

## （３）活動の記録（年間計画・活動状況）

- ・ 5月23日 年度当初総会（於 ことす京都里山 SDGs ラボ）
- ・ 7月8日 合同科学センター学習（宕陰・花背小中学校4～6年参加）
- ・ 9月29日～30日 第71回全国へき地教育研究大会山形大会参加
- ・ 10月27日～28日 第37回近畿へき地教育研究大会京都大会
- ・ 11月14日 後期課程合同学習会（リモート）
- ・ 2月15日 花背小中学校学習報告会Ⅱ期
- ・ 2月24日 年度末総会（書面回議）
- ・ 3月3日 花背小中学校学習報告会Ⅰ期
- ・ 3月9日 後期課程合同学習会（於 花背小中学校）
- ・ 3月10日 花背小中学校学習報告会Ⅲ期

## （４）今後の課題

「近畿へき地教育研究大会京都大会」を開催。分科会会場をリモートでつなぎ、全体会を実施。その様子をインターネット上で後日配信するなど、ICTを積極的に活用した大会となった。各校とも児童生徒の伸ばすべき資質・能力を明確に捉えた研究報告ができ、京都市のへき地教育の在り方を改めて考える契機となった。また、宕陰と花背の2校は近畿大会に向け、合同研修や校内授業研への相互参加等、積極的に交流が深められた。大会での成果を次年度以降しっかりと引き継いでいきたい。

# 【吹奏楽部会】

感染症対策を講じた上で実施（吹奏楽演奏発表会）



## 組織・役員

- 部会長 山口基之（京都御池中学校校長）
- 副部会長 柿谷隆子（東山泉小中学校副校長）
- 顧問 平林秀二（総合教育センター研究課参与）
- 指導助言 水谷佳代（総合教育センター指導主事）
- 委員長 丸山早希（京都御池中学校）
- 副委員長 黒田哲広（洛北中学校）
- 事業部
  - 春体開会式【本年度中止】 木下 純（上京中学校）、野々口美咲（東山泉小中学校）、橋本順子（烏丸中学校）
  - 吹奏楽演奏練習会 丸山早希（京都御池中学校）、十河千尋（太秦中学校）、黒田哲広（洛北中学校）
  - 中総文吹奏楽演奏発表会 前川達郎（大淀中学校）、野々口美咲（東山泉小中学校）、長谷川 学（神川中学校）、木下 純（上京中学校）
  - 楽器講習会【これに替えて吹奏楽部指導者講習会を実施する予定】  
木下 僚（勸修中学校）、橋本順子（烏丸中学校）、西村結奈（深草中学校）
- 研究部 調査担当 丸山早希（京都御池中学校）、寺内久貴（四条中学校）
- 庶務部 丸山早希（京都御池中学校）、西村結奈（深草中学校）、西中 悠（京都京北小中学校）、十河千尋（太秦中学校）、木下 僚（勸修中学校）、細矢 衛（山科中学校）
- 会計 西中 悠（京都京北小中学校）、橋本順子（烏丸中学校）、川田 栞（四条中学校）
- 会計監査 木村 綾（北野中学校）

## (1) 研究テーマ

吹奏楽部の活動の充実を図るために、指導法及び有意義な部活動のあり方を研究する。

## (2) 活動の記録

月日	名称	内 容 等
4月	春期総合体育大会	春季総合体育大会開会式での演奏【中止】
5/13	旧常任委員会	【メール・電話にて実施】令和4年度事業計画案、総会に向けて等
6/1	定期総会	【メールにて添付配布の書面にて実施】令和3年度事業・決算報告及び承認 令和4年度役員・計画・研究テーマ等提案及び承認
7/22	吹奏楽演奏練習会	右京ふれあい文化会館にて実施（6校参加）
9/1	常任委員会	今年度の事業計画、吹奏楽演奏発表会の開催方法
10/24	常任委員会	吹奏楽演奏発表会の実施方法等の確認、指導者講習会について
11/6	吹奏楽演奏発表会	堀川音楽高等学校音楽ホール 19校（440人）出演
12/9	常任委員会	吹奏楽演奏発表会の総括、楽器講習会の代替事業の検討
2/25	吹奏楽部指導者講習会	京都御池中学校にて
2月	常任委員会	年度末総括、次年度活動計画策定
3月	基本調査の実施	楽器等の物的条件と顧問・指導者の人的条件の把握

## (3) 今後の課題

- 研究会活動をより充実・継続・発展させるための、教科の枠を超えた幅広い人材の発掘と育成。
- 各校での活動実態や楽器整備状況などの調査による課題の明確化。
- 部活動ガイドラインを踏まえた限られた時間での効果的な指導方法の開発・共有。
- 感染防止の徹底とそれを踏まえた日々の活動や楽器講習会などの事業の実施方法の確立。

# 【新聞教育部会】

事務局：嵯峨中学校内

## 【1】組織・役員

会長 山崎 直人（嵯峨中・校長）  
副会長 上畑 直久（西京高附属中・教頭） 藤川 佳久（四条中・教頭）  
          福田 博天（東山泉小中・教頭）  
理事長 石田 誠（上京中）                  事務長 石田 典子（久世中）  
会計 川北 雅美（松原中）                  理事 青木 颯（勸修中）

## 【2】研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びを実現する新聞教育～新聞教育の日常化を通して～」

学習指導要領でも、新聞の活用は思考力・判断力・表現力を高めるうえで効果的であると、新聞を活用した授業の工夫を求めている。新聞記者によって深く情報読解された記事を教材として取り上げることによって、「なぜ、どうして」というニュースの背景を深く読み解くことができる。また、新聞づくりの活動は、それ自体が取材という情報収集に基づいた「思考・判断・表現」の活動そのものである。新聞教育に取り組む学校や教員は少なからずいるものの、研究会として横のつながりを構築できているとは言い難い。平素の学習の中で新聞の活用が有用であると考え、新聞作成の手法を発信することで、すそ野を広げたい。

○京都市立中学校における壁新聞づくりの伝統を生かして、新聞づくりを活用した情報発信について調査・実践・研究を進めるとともに、当研究会で作成・印刷をした新聞用紙（A3）の無償提供により各校の新聞制作を支援・推進する。

○授業や総合的な学習の時間等で必要な「活用する力」を高めるために、どのような取組が効果的であるかをNIE活動の実践を踏まえて研究を進める。

○各校の授業や取組に資する教材やwebサイトについて情報提供を行う。

○小学校新聞教育研究会との連携を図り、新聞教育の在り方についての研究を進める。

## 【3】活動の記録

5月13日 京都府NIE推進協議会幹事会・定期総会（京都新聞社）  
6月17日 第1回理事会・総会（書面開催）  
8月4・5日 第64回 全国新聞教育研究大会宮崎大会 [オンライン]  
8月18日 京都府NIE定期総会・NIE実践者懇談会（京都新聞社）  
          近畿NIEフォーラム [オンライン]  
10月27日 第2回理事会・中総文新聞コンクール審査会（嵯峨中学校）  
11月5・6日 第37回 京都市中学校総合文化祭新聞展（総合教育センター）  
12月11日 第59回 小・中学生記者による文化財取材コンクール（北野天満宮）  
          [公益財団法人 京都古文化保存協会 との共催]  
1月27日 第22回京都府NIEセミナー（京都新聞社）  
3月 9日 第3回理事会（嵯峨中学校）

## 【4】令和4年度京都府NIE実践指定校

京都市 花山中学校〔2年目〕・小栗栖中学校〔1年目〕

## 【5】今後の課題

- 新聞活用の現況を踏まえ、潜在的な活動（個人・団体）を支援・推進していく。
- NIE推進協議会等 関係諸団体との連携を図り、各校への支援体制を整える。
- 新聞教育やNIEに関わっている教員を掘り起こし、また若手教員への育成も行いつつ、理事・会員を募って研究会活動を活性化させる。
- 教科教育や図書館教育等との連携を図り、新しい展開を模索する。
- 各種コンクール等への参加を広く呼びかけ、取組の拡充を図る。
- 教科等での新聞制作を支援するために、引き続き新聞用紙の提供を進める。
- 2024年度のNIE全国大会に向けて、実践指定校とともに協力体制を構築していく。

# 【放送教育部会】

## 1 組織・役員〔加盟校 72校〕

部会長 岩佐 峰之(京都市立西京高校附属中学校長)

副部会長 久保 泰雄(京都市立朱雀中学校)

幹事長 八藤 由之(京都市立安祥寺中学校)

幹事

京都市立洛北中学校	栗山 准
京都市立京都御池中学校	伊藤 和歌奈
京都市立伏見中学校	高橋 利華
京都市立伏見中学校	西尾 治男
京都市立西院中学校	南澤 勇太
京都市立藤森中学校	藤田 香世
京都市立梅津中学校	松居 紀子
京都市立修学院中学校	杉山 哲也
京都市立西京高等学校附属中学校	松永 緋花里

### 上位組織と「京都放送教育研究協議会(京放協)」の構成

全国放送教育研究会連盟(全放連) - 日本放送協会(NHK)

近畿放送教育連絡協議会(近放協) - NHK大阪放送局

京都放送教育研究協議会(京放協) - NHK京都放送局

京都保育メディア研究会

京都市小学校教育メディア研究会

京都府小学校教育研究会情報教育部

京都市中学校教育研究会放送教育部会

京都府中学校教育研究会情報教育研究部

京都府高等学校視聴覚教育研究協議会

京都府私立中学高等学校連合会メディアと教育研究会

## 2 研究テーマ・活動目標

研究テーマ:豊かな感性と生きる力を育む放送教育の役割についての検討

-生徒アナウンスの技術向上により、学校行事や生徒会活動での放送教育の充実を図る-

### 活動目標

高度に情報化された現代社会では、学校に限らず社会の様々な現場において、各種のメディアをいかに効率よく活用して、正確かつ迅速に情報を伝達することが大きな課題となっている。本研究会は、本市中学生のアナウンス、朗読及び映像等の番組制作の技術向上の機会を企画し、その企画を通じて、放送技術や視聴覚教材を活用した放送番組の制作技術向上を図るとともに、京都市立中学の放送教育の充実と活性化に資す。



## 3 活動の記録(令和3年度 年間活動計画)

7月10日 NHK杯全国中学校放送コンテスト 京都大会

11月11日 近畿放送教育研究大会 和歌山大会

11月12日 全国放送・視聴覚教育研究会 全国大会(オンライン)

2月 5日 京都市中学校アナウンスコンクール(予定)



## 4 取り組み成果と今後の課題

(1) 本部会の主催するNHK杯全国中学校放送コンテスト京都大会及び京都市中学校アナウンスコンクールへの参加中学校が以前は、固定化する傾向が見られていたが、コンクールの参加部門を増やすことで、多様な生徒が参加しやすくなるよう工夫をしている。さらに、団体部門を新しく設けることで、コンクールの参加生徒数は年々増加している。

来年度に向けて、古典の部の創設を準備している。

(2) 加盟する上位組織への加盟登録費用の財源について、その確保の方策を引き続き検討する。

(3) 情報教育部会との組織合同が可能か、引き続き模索する。

# 【演劇部会】

(通称「中劇研」)

◇会員15名(10校) ◇事務局:洛星中学校

## 【1】組織・役員

会長 笠原 光徳(松原中学校長) 副会長 小滝 俊則(音羽中学校長)  
事務局長 片山 知行(洛星中学校) 事務局次長 井上 裕子(音羽中学校)  
会計 右田 真衣(松原中学校)  
庶務 千葉 祐嗣(洛北中学校) 庶務 青木 雄大(洛北中学校)  
庶務 田畑 彰子(同志社中学校)  
会計監査 西出 佳菜(同志社国際中学校)  
発表会担当 片山 知行(洛星中学校) ドرامスクール 片山 知行(洛星中学校)

## 【2】研修テーマ・活動目標

○テーマ 「心と身体の解放を目指して」

☆演劇の創造と鑑賞の活動をとおして、生徒の人間形成に資そうとする演劇教育を中学校教育で、さらに活用できるように個々の教師力の向上を図っている。

☆演劇部の顧問以外にも関心を持ってもらえたらと考え、取組に関して発信することを一層重視する。

☆ICTの活用を図る。

{具体的内容}

- ①学校演劇の指導法の研究・研修
- ②演出の方法の研究・研修
- ③発声・身体表現の研究・研修
- ④照明・音響・道具等の技術の研究・研修

## 【3】活動の記録(年間行事・活動状況・例会、役員会等は必要に応じて開催)

○主な年間行事

4月16日(土) 【洛星中学校】

第1回中劇研例会 ・今後の活用内容について  
・大会を開催するための留意事項など

6月11日(土)・12日(日)

春の合同発表会【京都市東山青少年活動センター】 参加8校

8月5日(金)・6日(土)

ドラマスクール【京都市東山青少年活動センター】 参加50名

講師に劇団『ひまわり大阪』の青木雅代先生をお招きして、演劇について学んだ。

9月30日(金) 【オンライン会議】

第2回中劇研例会 ・秋の大会参加校決定及び抽選会  
・役割分担及び大会運営に関する決定事項の確認

11月20日(日)・23日(祝水)

秋の合同発表会(京都市中学校総合文化祭)

[立命館大学衣笠キャンパス以学館1号ホール] 参加7校

## 【4】今後の課題

- ①発表会場の確保
- ②照明・音響等についての研修の実施
- ③研究成果の記録
- ④指導法などのマニュアルづくり
- ⑤文化部(演劇部等)の活性化
- ⑥京都府高等学校演劇連盟との連携
- ⑦ICTの活用

# 【食教育部会】

通 称: 中食研 (ちゅうしょくけん)

事務局: 上京中学校

## 1. 組織・役員会員

会 長	小林 匡子	(上京中学校校長)	副会長	古口 賢一	(嘉楽中学校校長)
副会長	森本 康裕	(藤森中学校校長)	副会長	上田 元司	(双ヶ丘中学校校長)
副会長	竹田久美子	(向島東中学校校長)			
幹 事	新谷 裕美	(上京中学校教諭)	幹 事	野田 しずか	(栗陵・醍醐中学校教諭)
幹 事	池田 純子	(下京中学校教諭)	幹 事	今川 早紀	(洛南中学校教諭)
幹 事	鋸屋 仁美	(嘉楽中学校養護教諭)			
担当主事	島 さやか	(総合教育センター)	担当主事	出野 豪宏	(体育健康教育室)

## 2. 研究テーマ・事業

『中学生の食に関する意識の向上と食教育としての指導の充実を図る』

中学生の食に関する意識を向上させること並びに食教育に関する指導の充実に向け、その指導内容・方法についての研修・研究を深め、中学校に発信する。

- (1) 学校現場での食に関する指導のあり方についての研修  
(「食に関する指導の全体計画」に基づいた取組・指導の検討)
- (2) 自主研修会の開催
- (3) 他の研修会・食に関する講座等に参加、伝達研修の実施
- (4) 食教育に関する標語等、中学校の食教育に取り組む意識向上の手立てを検討

## 3. 活動の記録

- 5月31日 ・ 中学校給食・食教育推進部会  
講義①「中学校の食生活の実態と中学校給食について」(指導主事 竹中万裕)  
講義②「各校での食育の推進について」(副主任指導主事 出野 豪宏)  
実践発表「桃山中学校での実践報告」(教諭〈現栗陵・醍醐中勤務〉野田しずか)
- 8月1日 ・ 第1回食教育部会
- 8月～11月 ・ 食教育に関するアンケートや食に関する標語、実践事例募集等、中学校での食に関する意識の向上と食教育に取り組む手立てを各校で検討、実践する。
- 12月12日 ・ 第2回食教育部会 「標語」「昼食指導の手引き」発送、検討。(Teamsにて)
- 1月24日 ・ 第3回食教育部会 「標語」優秀作品の選定等、本年度の反省と今後の課題

## 4. 今後の課題

- (1) 研究会活動の体制づくりと活性化。
- (2) 中学校へ食育の啓発(広報活動)と食教育の更なる推進(実践事例)。
- (3) 「食に関する指導の全体計画」を踏まえ、各教科領域・各学年と連携して指導を推進する。

# [野外教育部会]

通称：中野研（ちゅうやけん）

## [1] 組織・役員 会員数12名

会 長： 長谷川正己（洛北中校長）

幹 事 長： 大野 真見（東山泉中）

研究・研修： 竹野 理（四条中）・田中 美那（栗陵中）・早川 宰（西総合支援）

会 計： 北原 美佳（西ノ京中）

## [2] 研究テーマ

中学校における野外教育の進展のために、その実践および理論について研究し、会員相互の野外教育の実践力と指導力を高める。

- ① 野外活動，その他の様々な手法を取り入れ，生徒の良好な人間関係の結び方の研究・開発を行う。
- ② 自然体験活動を通じて，生徒の自立心・協力心・協調性・他の生きる力を高める方法の研究・開発を行う。

## [3] 活動状況

◇総 会 4月（持ち回りにて） 本年度役員選出，研究テーマ，活動方針等の審議・決定

※ 役員会随時開催

## [4] 今後の課題

- (1) 今後の在り方を検討し，活動を行う。
- (2) 野外活動，その他の様々などの手法を取り入れ，生徒の良好な人間関係の結び方を，さらに学校現場に伝えられるようにする。

# 「総合的な学習の時間部会」 (通称：ちゅうそうけん)

事務局：小栗栖中学校

## 1 組織及び役員 会員数 80名

部会長	今津 敏一	小栗栖中学校	校長
副部会長	森下 治樹	加茂川中学校	校長
副部会長	瀧本祐一郎	大原小中学校	校長
幹事長	白井 純子	東山泉小中学校	教諭 (シニアマイスター)
副幹事長	前川 俊	花山中学校	教諭 (シニアマイスター)
副幹事長	藤本 裕之	向島東中学校	教諭 (シニアマイスター)
庶務	岡田 辰也	醍醐中学校	教諭 (マイスター)
会計	岩本 信吾	朱雀中学校	教諭 (マイスター)
企画	野間 勇輝	双ヶ丘中学校	教諭 (マイスター)
企画	山中麻由実	京都御池中学校	教諭
企画	福島 由佳	洛北中学校	教諭
企画	乾 由紀	中京中学校	教諭
企画	東 俊介	科学センター	主任主事

## 2 研究テーマ「学習指導要領に則した「総合的な学習の時間における主体的・対話的で深い学び」を追究する」

### (1) 研究目的

「主体的・対話的で深い学び」を総合的な学習の時間とどのように関連付けて各教科で実践していくかについて、主体的な学びの視点では「学習活動を発展的に繰り返していく過程を重視し、課題設定と振り返りの充実」である。また、対話的な学びの視点では「他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深めるような学びの充実」が必要であり、深い学びの視点では「今まで以上に学習過程の質的向上」ことがそれぞれ必要となる。京都市における小中一貫教育の展開のもと、本研究会が主体となり、全市的な交流を深める中、最大の教育効果を生み出すことを目的とする。

### (2) 研究内容

実践交流を積極的に進め、具体的な指導のアイデアや指導技術の交流を図り、自校で実践できる力を身に付けてもらえるようにする。オンラインを活用してすぐにできる実践教材を工夫する。(小学校・高等学校との連携も視野に入れる)

- 実践交流を積極的に進め、具体的な指導のアイデアや指導技術の交流を図る。
- 学習会を定期的に行い、経験の浅い総合的な学習の時間主任の研修を深める。
- 小中一貫の視点に立ち、学びの連続性の研究をすすめる。(合同での研修会の推進の強化)
- 「中総研だより」の充実をめざし、担当者の拡大と意識改革を進める。
- 教科および道徳、特別活動などの横断性の確認とクロスカリキュラムの可能性の研究を進める。
- 〇高校、大学、民間などとの連携や外部資源の活用方法などについてそのノウハウを高める。
- 研究会活動への参加者を募り、組織の拡大を図ると同時にモデル校の幅を広げる。
- 指導計画(京都市スタンダード)を使った研修を深める

## 3 活動の記録

- ・令和4年 4月27日(水) 第1回役員会 ZOOMにて
- ・令和4年 5月13日(金) 総合的な学習の時間主任研修会・総会 ZOOMにて
- ・令和4年 5月31日(火) 授業実践向上講座①参加
- ・令和4年 8月 3日(水) 生活・総合的な学習の時間指導講座(夏季研)
- ・令和4年 9月 6日(火) 第2回役員会 ZOOMにて
- ・令和4年 9月13日(火) 授業実践向上講座②参加
- ・令和4年11月 3日(祝) 小・中・高等・総合支援学校児童・生徒ポスター発表会参加
- ・令和5年 1月19日(金) 第3回役員会 東山泉小中学校
- ・令和5年 2月 研修会

## 4 今後の課題

少しずつ集合研修が持てるようになってきたことを機に、中学校独自の取組はもちろん、小中合同での取組を充実していきたい。小学校の研究会とも連携し、生活科も視野に入れつつ、各中学校ブロックでの「7年間を見通した全体計画」の作成を積極的に推進していく必要がある。さらに評価に向けた一定の指針を出し、「主体的・対話的で深い学び」を総合的な学習の時間をどのように活用することによって実現できるかを考察し、発信することが来年度の課題である。

# 【研究主任部会】

事務局：小栗栖中学校

## 1. 役員及び組織

部会長	今津 敏一（小栗栖中校長）	副部会長	平井 真広（西陵中校長）
副部会長	野村 昌孝（開晴小中校長）		
幹事長	中島 朋哉（向島東中教諭）	副幹事長	越田 友喜（向島秀蓮小中教諭）
庶務	和田 正裕（下京中教諭）	会計	元氏 宏輔（開晴小中教諭）
北・上京	牧野 嵩馬（旭丘中教諭）	中京	土田 眞司（北野中教諭）
下京・南・東山	元氏 宏輔（開晴小中教諭）	左京	森川 美保（近衛中教諭）
山科・醍醐	稲井 浩子（山科中教諭）	右京	所 香織（西京極中教諭）
西京	高 彩子（洛西中教諭）	伏見	小林香陽子（桃山中教諭）

## 2. 研究テーマ

「資質・能力を育成できる授業づくり」 ～『個別最適な学び』と『協働的な学び』を意識して～

◇各支部の主任会が実りあるものになるようにするために

・全市研修のための企画 ・全市の情報収集→発信→各支部へ→各校へ ・テーマに関連した取組の情報交換

## 3. 活動の記録

4月 5日（火） 代表幹事会

4月12日（火） 全市研究主任研修会（第1回）及び研究主任部会総会（オンライン）

講義「校内研究の推進と充実を図るために」

～学習指導要領全面实施とGIGAスクール構想推進に向けて～

総合教育センター 主任指導主事 田中 圭

グループ協議「今年度の校内研究の構想と校内研究の活性化に向けて」

5月16日（月） 第1回支部研修会

6月20日（月） 第1回幹事会

6月27日（月） 第2回支部研修会

9月12日（月） 第3回支部研修会

9月26日（月） 第2回幹事会

10月24日（月） 全市研究主任研修会（第2回）及び研究主任部会総会（オンライン）

講義「縦（各学年）と横（各教科・各領域）のつながりを意識したカリキュラムの再構築」

京都教育大学附属京都小中学校 教務主任 野ヶ山康弘教諭

グループ協議

10月31日（月） 第4回支部研修会

11月28日（月） 第5回支部研修会

12月 5日（月） 第3回幹事会

1月23日（月） 第6回支部研修会

1月30日（月） 全市研修会（第3回） 研究会・総教C共催（オンライン）

実践報告「校内研究を推進するための工夫・改善」下京中学校 教諭 和田 正裕

2月13日（月） 第4回幹事会

## 4. 今後の課題

新型コロナウイルス感染拡大防止による制限も少しずつ解消されてきたが、まだまだ多人数での集合は難しいところがある。集合研修を実施すると意見も言いやすいが、オンラインではついタイミングを逃したり、見送ってしまったこともあるのが現状である。ここまで整備されたことによりオンラインが日常になるべく、研究主任会では失敗を恐れず積極的に取り組んできた。事前アンケートという形で前もって集約しておくことで会議をスムーズに行う工夫なども行っている。

このオンラインでの取組に時間を費やし、まだまだ新しい評価（3観点）についての議論が足りないのが現実である。今後、研究主任部会としては教務部会と連携を取りながら取り組んでいく必要がある。

支部授業研修会については、実技教科において令和4年度、5年度で実技教科についての改革を行っている。今年度の課題を精査して令和6年度から完全実施できるよう検討を重ねていきたい。また各教科の研究会ともタイアップし、基準指導案の活用など新しい試みを広げていきたい。

# 【環境教育部会】

事務局：下京中学校内

## 【1】 組織・役員

会 長	山田 敦（下京中）			
副会長	小川 秀（宕陰小中）	米澤 武史（洛北中）	上田 裕（桂川中）	
幹事長	中井 誠太郎（高野中）	副幹事長	川北 雅美（松原中）	
会 計	和田 正裕（下京中）			
幹 事	田村 和久（西京極中）	八藤 由之（安祥寺中）	池上 暁（凌風小中）	
	石井 宏篤（下京中）			
参 与	牧野 茂樹（大原小中）	河合 彩子（科学C）	茶木 正（西総合支援）	

## 【2】 研究テーマ

### 「SDG s（持続可能な開発目標）の実現に向けた環境教育の推進の在り方」

温暖化や自然破壊など地球環境の悪化が深刻化し、環境問題をはじめとする人類の生存と繁栄にとって緊急かつ重要な課題の解決に向け、SDG s（持続可能な開発目標）の取組が地球規模で盛んに行われている。エネルギーの効率的な利用など環境への負荷が少なく持続可能な社会を構築することが大切である。そこで、次代の担い手である生徒がエネルギー・環境問題にすすんで関心を持ち、それらに関する理解・考察を深めるとともに技能を身につけ、SDG sの実現に向けて、適切に判断し行動できる資質や能力を養う指導の在り方を研究することとした。

#### 研究内容

環境課題を正しく理解し、「新エネルギー」「再生可能エネルギー」などを題材とした教材開発・および学習指導法の実践、研究を進める。また、ワークショップや研修等を通して、持続可能な社会の構築をめざし、エネルギー・環境問題の解決に向け、生涯を通じて主体的かつ適切に判断し行動できる生徒の育成に向けた指導力の向上を図る



## 【3】 活動の記録

6月22日 総会・第1回幹事会

8月4日 研修会「スマート水素ステーション及び燃料電池自動車を活用した  
体験型水素学習」〈会場：ホンダーカーズ京都山科西店〉

10月24日 第2回幹事会

11月20日 京都府立植物園「樹木と文化」において

『持続可能な社会づくりのための環境教育』をテーマにしたブースを出展

2月 第3回幹事会・総会・研究交流会



## 【4】 今後の課題

- 役員、会員ともに組織体制の強化を図ること。
- 生徒が参加できる事業展開を推進すること。
- 研究会活動についての広報活動の活性化（HPの活用等）を図ること。

# 【キャリア教育部会】

事務局：下京中学校内

## 【1】 組織・役員

会 長	山田 敦（下京中）
副会長	中村 季弘（大宅中） 増田 隆生（花山中） 今津 敏一（小栗栖中） 森下 治樹（加茂川中） 高橋 佳久（七条中）
委 員	上畑 直久（西京附属中） 三田村 高秀（桂中） 杉村 郎（太秦中） 上島 保隆（太秦中） 今河 慶昭（久世中）
委員会	岡本 清之（生き方探究館） 吉岡 健志（生き方探究館）
顧 問	土肥 明男（総合教育センター） 初田 幸隆（学校指導課・生き方探究館） 石飛 聡（生涯学習部）

## 【2】 研究テーマ

「生き方探究教育の視点を生かした、授業づくり、学級・学年・学校づくり」  
～ 自分と社会、自分と自分の将来を『つなげる力』の育成を目指して ～

### 活動の方針

- ① 生き方探究教育の理解を深める
- ② 生き方探究教育の実践的な研究を推進する
- ③ 他校種との関わりを促進する

## 【3】 活動の記録

- 6月28日 総会・第1回幹事会
- 8月 生き方探究（キャリア）教育実践講座（ポータルサイト）
- 2月 3日 全国小学校キャリア教育研究協議会京都市大会＜音羽小＞に参加
- 2月下旬 第2回幹事会・総会

## 【4】 今後の課題

- 「キャリア教育の視点で教育活動を捉え直す」ことの意義や実践を追求する。
- 「キャリア・パスポート」の有効的な活用を研究する。
- 会員拡大に向けての取組を行う。
- 他地域の「生き方探究・キャリア教育研究会」との連携を図る。

## 【LD等支援教育部会】

通称：中L研

事務局：栗陵中学校

### [1]組織・役員

[部会長] 石田裕之（栗陵中学校校長）

[副部会長] 石原廣保（桃陽総合支援学校校長） 竹田久美子（向島東中学校校長）

大曾根好宏（岡崎中学校校長）

[教育委員会] 前川智子（総合育成支援課指導主事）

[幹事長] 小山享子（衣笠中学校）[副幹事長] 千代優樹（桃陽総合支援学校）

[庶務] 玉置宣子（神川中学校） 菊地浩美（伏見中学校） 小山千栄美（大枝中学校）

[研究部] 菊地浩美（伏見中学校） 小山千栄美（大枝中学校） 西脇優美子（京都教育大学内地留学）

井本綾子（高野中） 澁谷 祥平（洛南中） 堀野大輔（大宅中）

◎通級指導部会：岡崎有紀（久世中学校） 山口広美（四条中学校） 佐々木正美（京北小中学校）

◎UD・ICT教育部会：川村昌広（山科中学校） （藤森中学校）

[広報] 上田俊佑（北総合支援学校） 坂部 悠生（開晴小中学校）

### [2]研究テーマ・活動目標

研究テーマ「よりそい～連携から協働へ～」

研究目標『LD等支援教育の充実と発展を図る視点から多様な教育的ニーズを必要とする子どもたちを、誰一人取り残さない指導内容や指導方法を研究する』

取組み ①通級指導教室から通常学級につながる支援教育 ②個別の指導計画の見直し

③LD等支援教育の視点からGIGAスクール構想へのアプローチ

④UD・ICT ⑤校内体制への啓発 ⑥他府県での取組等

### [3]活動の記録 \*幹事会（毎月1回）中L研便り作成・ホームページの更新は随時

4月 第1回幹事会（栗陵中）組織編成，研究テーマの検討，研修・事業計画・会員募集名簿作成

6月27日 研究部会発足の総会および勉強会

講演「通級とは」 千代優樹先生（京都市立桃陽総合支援学校支援チーム）

7月25日 第3回幹事会（栗陵中）夏季研修会打合せ・個別の指導計画見直し検討会

8月5日 夏季研修会 講演「ICTを活用した教育実践」～ユニバーサルデザインと学習に困難が見られる生徒への支援～講師 木下垂希子先生（京都府立清明高等学校 特別支援コーディネーター）  
事例発表 池上賢治先生（藤森中学校）

10月29日・30日 日本LD学会 京都大会参加

2月15日 冬季研修会 講演「自己理解～価値観ワークショップ」講師 高野中 井本綾子先生

2月 幹事会 個別の指導計画検討会・まとめ

### [4]今後の課題

発足2年目を迎え、中教研をはじめ、多くの皆様にご尽力をいただきありがとうございます。今年度の活動としては、夏季・冬季の講演会及び事例研修等を行いました。また、個別の指導計画の見直しを継続的に検討し、いくつかの学校で試行予定です。来年度もLD等支援教育の充実と発展を図る視点から多様な教育的ニーズを必要とする子どもたちの教育の推進及び充実を目指し、その指導内容や指導方法を事例研修・講演会等を通して研究していきます。

第38回

京都市中学校

# 総合文化祭 プログラム

京都市立四条中学校2年 中下 はるさんの作品



令和4年10月22日（土）  
～11月23日（水）

主催 京都市立中学校教育研究会  
京都市立中学校長会  
京都市教育委員会

## 第38回 京都市中学校総合文化祭 実施日時・会場

名称	期日	時間	会場
生徒理科研究発表会	10月22日(土)	午後1時～午後4時45分	京都市青少年科学センター 映写講義室 〒617-0031 伏見区深草北ノ木町12 TEL:642-1601 FAX:642-1606
美術展	11月5日(土) 11月6日(日)	午前11時～午後4時	堀川御池ギャラリー 〒604-0052 中京区油小路通御池御池御池町238-1 TEL:255 9023 FAX:255 9023
新聞展	11月5日(土) 11月6日(日)	午前9時～午後5時 午前9時～午後4時	京都市総合教育センター 1階 〒600 8023 下京区河原町逢仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2411
技術・家庭科生徒作品展			京都市総合教育センター アクティブラーニングエリア 〒600-8023 下京区河原町逢仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
生徒社会科作品展示			京都市総合教育センター 第3研修室 〒600-8023 下京区河原町逢仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
朗読コンクール	11月5日(土)	午後1時～午後4時	京都市総合教育センター 第1研修室 〒600-8023 下京区河原町逢仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
弁論大会	11月5日(土)	午後1時～午後4時	京都市総合教育センター 永松記念ホール 〒600-8023 下京区河原町逢仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
生徒社会科ポスターセッション	11月6日(日)	午後1時～午後2時	京都市総合教育センター 第3研修室 〒600-8023 下京区河原町逢仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
生徒音楽会	11月5日(土)	開場 開演 午前の部 9:45 10:00 午後の部 13:15 13:30	京都市立京都堀川音楽高等学校 音楽ホール 〒604 0052 中京区油小路通御池御池御池町238-1 TEL:253-1581 FAX:213-3631
吹奏楽演奏発表会	11月6日(日)	開場 開演 午前の部 9:45 10:00 午後の部 12:45 13:00	※鑑賞は自校保護者のみで、事前申し込み制となっています。 一般の方には入場できません。
演劇合同発表会	11月20日(日) 11月23日(水)	午後1時35分～午後4時50分 午前12時30分～午後4時05分	立命館大学 衣笠キャンパス 以学館1号ホール 〒603-8577 北区等持院北町56-1 TEL:465-8191 FAX:465-8398
英語学習発表会	11月5日(土)	午前10時30分～午後1時00分	京都市立洛友中学校 体育館 〒600-8023 下京区大宮通綾小路下る綾大宮町51-2 TEL:821-2196 FAX:821-2197

○当日は公共交通機関でご来場ください。(専用駐車場はありません。)

○発熱や咳、くしゃみ、鼻水等の風邪の症状があるなど、体調がすぐれない方は、ご来場をお控えください。

○マスク着用や咳エチケット、ご来場前の手洗いや手指の消毒等にご協力ください。

